(日曜土

七

車隊出動を待つ我官憲と鮮農 夜を明かす 睡もせず

もせず不安なる一夜を明か 等の危険はなかつた、中心緊部以下の場 日午前零時空を職係祭のため出動した際 機へられり骸をか受け続行されぬ館間行でないる縁れないさいつてゐる、たる軍隊出動に對する軍大協議をなした、なほ右銭人概令は海中二回までも であつたので超遊器長は八時四十五分極野歌兵分隊はさ共に銀事館に田代銀里し何時職職されるか知れの経際になつて聚た、軍隊の出動を一型壕に掘り警戒とつ、あるが、夜になるさ同時に支那官憲及び厚合は二日夜八時半長森着、これによるさ爪質山のわが際官隊は水路に 齢馬は合の二 職品多量を奇馬車に確載し輸送し 官隊は現地の要求により天幕、食

暴民はけふもまた 機關銃で萬一に備ふ

撃らしい、然と無難液や脚膝を使嫁して騒撃するこの順が暮らであるが、柳園錠が用意してあるから撃を繰返すであらう。を継続されるころり、三日朝六時殺の縁既によるこ、また態氏の銃寒とたことが明明した、暴民側は夜襲なざはやるまいが三日朝になれば二日同様の暴寒したことが明明した、暴民側は夜襲なざはやるまいが三日朝になれば二日同様の暴寒した時代發表した整々で、紫密底に飛ばした巉に途中夜になつたいめ帆れかに降睡、夜明と同時に降放した中落に晩慮されてゐたが、三日午前五時十分者の熾便により愁層を聞いた、それによると一行設なし非常に晩慮されてゐたが、三日午前五時十分者の熾便により愁層を聞いた、それによると一行 さも出動

交那側首腦旅行

張作相氏母堂三年忌に出席

日本側交渉に不便

小法投獄の鮮農

天に送るさ

旣に百四十餘名

虐待されて死を待

在までは、主文がだとも死傷は無い

間諜の疑ひで

いへの優恋植まる徐邁の下に死な「他れも共産繁設さして時大部分は有力なる養良厳農」百四 にて継ばされた養良なる大部分は有力なる養良厳農」百四 にて継ばされた薬師・戦

行財政整理案は

八月中決定

者だが事性頻繁さ共に吉長線下倫理は長春一泊の上吉林根察に赴く

町械吉林観察は中止されることに駐剳軍隊の萬蟹山出頭等ありて時

徹底的に解決 田代領事意氣込

來る十五日に初會

孫處長出入謝絕

新側)は日本側の登砲により止 が場合す之に臨城した。現官域(支 を発す之に臨城した

日夜十一時出餐の像点であった。『機関銃捌行の第五次出舫部隊は 午後二時迄に現地到着 支那私逆宣傳

日本刀直ぐ送れ 拳銃なご役に立ため 中川警部からの注文 高登山事他に對する常地支那大東 北二日は歳外を登行した また二日は歳外を登行した また二日は歳外を登行した。 常体的経際線度及を離然管系署内ので交戦状態にあるわが官意では 保管察職長が二日も午後來及とた 内閣を探るため出入する気城子の日支間の事性があればわが管窗の

在滿邦人團體

から激勵電

日露漁業條約改訂 田代飯事、武潔器長に難する花浦田代飯事、武潔器長に難する花浦の地館、村上に山櫃の地館、村上に山櫃の地館、村上に山櫃の地館、村上に山櫃の地館、 られてゐる

な提出歌心もない。 を提出歌心もないで、 歌倫学で、歌野中の名者及 でで、野中の名者及 でで、野中の名者及

危險去らの萬寶山議監

国に見らって

萬寶山問題の離れると常年した。

1.10年級の第七級艦を扱ふ客 を教の第七級艦を扱ふ客 し多数の結七級艦に決

ないである。 をいると言ふといいである。 をいると言ふといいである。 をいると言ふといいである。 をいると言ふといいである。 をいると言ふといいである。 をいると言ふといいである。 をいると言ふといいである。 をいると言ふといいである。 悠々さ新低地に殴つて其の御覧 滿蝦首脳部の低党を政策の影

なお風首根が取上げたで言ふこれ 見てよからう。此の輿論を聴明 なお風音根が取上げたで言ふさ 疾事實さしても少しの薫楽も歌 野内師には沿口氏である窓する性格の持起でもなければ 意義は主さして野外師で旅が深いが、然し術は驚臭に薫 艶明にいへば内田健の概 野江口氏の周保において、戦と、戦さへあり得るが、然と

大には正計を数の様ろの という。私は成ふ、下での

したものを明は未だ知らない 日間の評判はごうであるか

りた務めた所謂滿銀評議員會派次に滿銀音騰部超然論の音順取

は他等の疑問も世らない

の新原則

滿鐵總裁選定

したのはが論、野葉たる政友智

能を影響なる態度を示してゐた

展2階の補機首腰部選供の風地に足るまい。有の好き事實は若に足るまい。有の好き事實は若に足をまれる有の好き事實は若 の幹事長すら赞意を表して居 行財政懇談會

北滿鮮農五 不法逮捕 一名を · 投獄

村山(旅粉)谷政和大電から農林

「まあお娘は、そんなこさ

日来の、従って各省の意見を一々 は来の、従って各省の意見を一々 を見て少敷の人が繋撃せれば管行

善きフラッパーロン

藤順三

史

東亞の

何等根據なく共產黨員ご稱し 支那官憲最近ハ 新な鮮農 辰の壓迫手段 ルビン方面で

かくない。 共産業員を稱して大きに共産業員を稱しているのでは、新官窓が総の場所をあった。 戦と明年に最も有効なる 警官隊へ

彼等官蔵の指手に引つ して五十名の総農は吉

管する物である、耐して長官の日 総署長より事性を詳細に重つて報 というなが、長官部着の上説 であるが、長官部着の上説 滿鐵正副總裁 今夜 果京發赴任

副総裁は4日午後十時十五分果京『東京三日候』内田、江口滿鐵正 牧伊勢、桃川に豪拜の後赴低の智 蛇角 日午後十時十五分、果京

さんの際は鳴る。 でもれた喧噪なら買ふがいい、 鍵地をかついだな機長兵衛を 報んでくるまでも

なこまでも支那式だ、まだ「よらば」 新した、神ご主義者のていふのよ」 でもお戦機、そんなこと。…… をれて今度もおりなさるので、 をれて今度もお一人だけで……」 て「動も兄さんの味がなのれ。ちゃっと、ア戦もれさんの味がなのれ。ちゃっと、ア

一日夜でマトキテルに田代領事をも振らす「もうかうなつては総称をしていることで語る」とで語るでは、翌日の不暇不保の活動によっては総称を

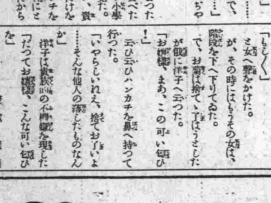
切るぞ」の気合が足られる

数はすつかり困つてしまったで、笑ってボンチばかり食べたで、笑ってボンチばかり食べた要素晴らしく笑しくて迷しい、貴素晴らしく笑しくて迷しい、貴ないのがなチラくく見た。 なべてある

とで解いてはどうですか、根薬も 数といふのな消機関東甌や官学民 が変しますが。

かうぶつてお類は洋子の鼻つ先









市役所の 減俸實施

を示してるた 大連市後所では影響を を名政務官さ 市長、松井助役、下の減解を を名政務官さ 市長、松井助役、下の減解を を名政務官さ 市長、松井助役、下の減解を を名政務官さ 市長、松井助役、資源議務、近藤 の一たが減解に装置するのは田中 を高か変別相、 尾衛生を懸長および旭井 総の八 の一に全政人に野する一種四厘次至 一に全政人に野する一種四厘次至 一に全政人に野する一種四厘次至 一に全政人に野する一種四厘次至

はが何れも七月分から総料数が標は年候一茂圏が八千圏になった織ったものでつまり田中市長 何れら市に寄除の桜

31G4



社會式株油醬田野

を しに市民各位へ贈らうさ思ひます で しに市民各位へ贈らうさ思います で しに市民各位へ贈らうさ思います で しに市民各位へ贈らうさ思います で

でたどのやうに脱まるにばたに、他は十一国、粉糾當時は開相場

動の第

多年に立る日際濃葉拡張の概本経解決の機會顕素せるものさし去る六月二十二日在 電販を塗げ、ために感常な機會を養見するに至らなかつたが、ルーブル際歌園通常決さし難に厳田大便赴佐の際これた含ましむるさころあつた、然るにルーブル検算率関連し農田大便赴佐の際これた含ましむるさころあつた、然るにルーブル検算率関連に関サや企動館に要生し年集に概化の傾向にある北洋日路温楽歌楽の板絵を板を

宗のと共に帝國

兩國抗争の根本的解決を期し

愈よ近く交渉を開始

、出て來た、スツリー・ガールちゃ して、精灌あたりから野た釣りに

「おや、ほんさに、何て可い語ひ

後二時よりの演習が悉く節内にて 大学では第一日午 大学では第一日午 では第一日午

消防演習想定

今度は世界早廻機で

太平洋を横斷する

るこさも否定するこさも指人だ、 從つて何等かの考慮を進めてゐる

共もう歌喜ぶな、各店々は起ひ起

内裏比須町一六七谷塩が

して潮の妲

い養後に敢行を聲明

組織する

河口署緊張

液層に参加する平壌飛行六職隊の 線飛行新記録を目指す

飛機續々來る

佛國機は

出發延 市長の敷辺間に開氏は手を 不良で 關東學生聯盟對鐵滿

四日午後三時より北公園コート 第一回庭球試合 主

夜間

營業共

五日ま

時迄

はり沙河口環場底に大正小學校々 に於て関係者遊びに監修主物家集 に於て関係者遊びに監修主物家集 の上線路抽籤の結果総合せ左の如 の上線路抽籤の結果総合せ左の如 の上線路抽籤の結果総合せ左の如 を決定した、参加監修第三十三 報球 社部

ルブリ、ド

あったが

マッキンレ

レインコー

かと小倉

袴

四日

一拾錢

(四日に限り燈火管制の爲め午後八時三十分まで)

大阪へ良のためこれを延期して原生技師ならで飛ぶが太平洋機脈に、東京流は無 場に別れ沙河口工場景の旅球式後頭野中沙河口工場長の旅球式後頭野中沙河口工場長の旅球式後頭

ロメ

吸飲で

辯士の悪事

貴金屬を盗んで注射 第一上に長春時代ペーイン吸飲が満じ 前配谷域氏がより流末後側郷大森 が続きさの(こ)のもさに微伏して かがきさの(こ)のもさに微伏して かがきさった。まるサル日再び大連に かび戻つたさころを連指されたも 歌州の下

即子供方は日に是非一度 **專賣特許 溫泉藥** 洗面に五滴。行水に二十滴。風呂 に一盃。(全滿著名藥店にあり) 添州線代理店 上野薬局

三十分開始)以上沙河口上職場對大正小學校(午 李档工場資職場(午 組對工場動力軍 4 崇工場館治職

公安を害せぬ

ご認めたものを

ば發禁か

時三十分以上 木正小學業 A組對工場工具 職場 本合圖に では、大連管内防空演習のため左記日時内に於て警報を合圖に で下さい 一、電車とバスは停車させて戴きます 一、夜間電燈(動力併用)は曾様でお消しを願ひます 一、夜間電燈(衝燈併用)は會社で消させて戴きます 一、夜間電燈(衝燈併用)は會社で消させて戴きます 一、電車とバスは停車させて戴きます

は り既に法律が認計したるものに対するとのに表神が認計したるものに表神が認計したるものに対すが認計したるものに対すが認計したるものに対すが認計したるものに対するといるが認識を表するといるが認識を表するというのは重大問題で、これは重大問題で、あるなどのである右に対すると思い、の論を関係を表していると思い、の論を関係を表していると思いるというのである。

を入時より十二時迄の間 を入時五十分より

回回

十七五 五分 分間間

試験所▲大連機械▲工ぶ組立河口郵便局▲沙。口市場▲理河口郵便局▲沙。口市場▲理工場双葉B組▲衛生研究所▲出場双葉B組

和六年七

月二日

滿

電

氣

株

式

社

七月四日日日

割込む

風佳 流味

名物毛存か來舍賴 みふと屋 22660 世 6085

截甚于亚 士厚字区 一九六七電◆八七連西連大 常 ◆ 間中連車電場な面積り計程

電話六七三人番

大地お好う次第一大地お好う次第 五 +

うなぎ丼 一回二粒結果ヲ慾スル 一下 三十分前服用 碎冽總代理店 大 落洲發質元 日本 大 原 顯 局 日本製鋼株式會社



短火管制を實施

機襲來に備ふ 四日午後六時防衞命令を發し 更らに制令を下す

の養表した西郷り太平洋衛門飛行

熱狂的歡迎裡に

兩勇士の紐育入

市長の歡迎會に臨む

考慮中

ツテイ氏

所者は今日のニユーヨーク市長公 だけ撃く動迎食を開きたいこ 繋だ とき揺標に悩まされてゐるので親 しき揺標に悩まされてゐるので親

して静養さす ヨットに隔離

市民は事務所を空に流れ出して数

色 社 さテープの所謂プロ して居るのな数見逮捕

公開する共産黨が

公判

0)

行惱

日粉』ポスト、

HK

日

ク出が以来初めての映歴八時間をげる日だ、兩飛行士はニューヨー

の輝々捕なのでデヤナリズムは

たる以上、その記事も

信意の微型

八五世

ニケ所で給油の計畫

西部野球大會に

高射砲の實彈射撃や

脚銃式彈射撃(朱兵第一家屋の窓端子は**豊誠**により破損さ 高等飛行を見學さす は戦萬人に達する見込(恐線の際

機等夏の報類々たるに鑑み

行第六聯隊)

競馬の課税は

出來の相談

内地の競馬法準用で

は大要大の城く谷が配に通楽しいまする燈火管線に関し来激戦に 総船を設置に いいます ながない はいます かんしょう かん で 通達

解せぬ者の野見であるさ云つて居 の語る所によればこれは壁脈波を 心臓が発中であるが、関ロ臓が脱さ を臓研発中であるが、関ロ臓が脱さ を臓が発中であるが、関ロ臓が脱さ をして、変数に対して終税し半様六萬 が、関ロ臓が脱さ をして、変数に対して、 をして、 を

層行の範圍内におい

大連港灣の

短火管制

七月の確空に投げ出された

彩票の番號を其儘 金高に、 「櫻井殺せ」で逃げ出した 落札

さ當時を顾いして機形氏が融つて | 作業船宗谷丸 | ださ云ふ 製棒が自分を強くした | ゐる 『寫真は片ださ云ふ 製棒が自分を強くした | ゐる 『寫真は片

して居ます

御贈答品に

日

ょ

御滿足を得る大安値にて皆樣の御來遊を御待ちにお體裁の良い實用向お履物を多種類取揃へ

本社大連西部支局主催の

西部大連一軟式野球大會は來る五十午前九時

世二

ム参加

海軍機墜落

学和終既版中北高來都康早附近で 学和終既版中北高來都康早附近で 学和終既版中北高來都康早附近で 永野中尉慘死

本潮(午後 一時元十五分 西の風 曇一時晴 一時元十五分 天気陽就

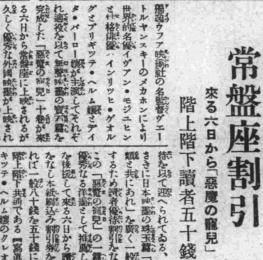
施順醫院に於て死去仕候間此段謹告仕叶七月二日午後四時五十五分族順關東 親戚總長大夫 日竹高同小 園場馬方

野相田臼松松岩難松 中井平野見波平平

日午後四時島原田駿岡寺に於て執行可仕鰻門の自宅に於て死去仕候間生門の自宅に於て死去仕候間生門の自宅に於て死去仕候間生 面如吉夫諒勝治治靜敏峽

お履料に犠牲的見切品澤山 話速 五町物 七二 _= 八丁店





時代の生んだカフエ

名映畵上映の

すで品需必の養榮工人 すでのもるすに

海鼻

良

藥羅療

鼻

湯

振替大連四五二〇番

重韶五二六

赞







(113)



孟

株式會社 **進和高** 大連市低渡町三〇

代理》

U

3

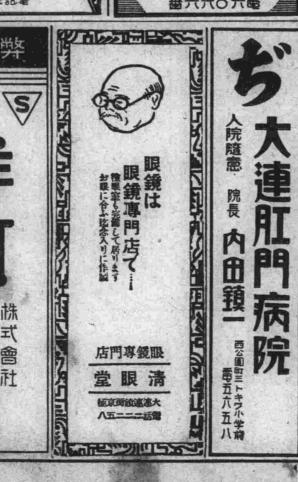
樂精

製産

朝鮮製藥株式會社

1.800CC(- 4)\$5.00









西通9遊樂館前



押さば倒

茅屋に信託が出來る迄

融資は不可

輸入組合では這次の職合総會において

人の取引数及び取引金高を増加 とたちのみならず、満畿の融通 が、百萬國に上るさいふ 様で銀行は非常の利益を得てる や ないない

貸付業務の改革案

總會で可決の理由

メロン米財政長官に對して

フランス側が指摘か

二日が親左の好き配明者が養表しま

急騰す

【ハルビン特體二日盤】灌鰻にお で黒城舎を登するので灌漑在住 を製作しいである。 で黒城をならて来た緊緊腱は原に これは外人逮捕のの根本が針から 個人にいるものさみらる 出てあるものさみらる 出てあるものさみらる 浦鹽の課税政策で 邦人愈よ苦境に 今度は住宅税、文化施設税 又連絡會議は一九二三年オ 比率の改訂は

スター1日登 | 町知するこころに とればフランス政府はイギリス首。 とればフランス政府はイギリス首。

羽田滿鐵々道部次長發表

512.9 86,184,3 56,851,3 7.998.2 1.941.7 1,762.9 1,008.2 19.329.9 3.741.7 1.137.0 2.282.4 655.1 13.1 620.0

305.2 2284 1,382,3 31.0 57.4 \$77.8 1,79€.0 13114 93,5 4,337,4 980.4 10,674.6 2,450.9 473.7 8,606.4

5.075.7 777.8 9.524.0 624.6 109.0 3.391.6 14,522,0 4.0 77.9 2,250,8 470.2 1.194.9

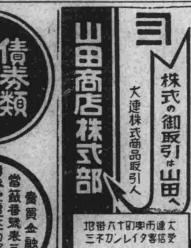




歌は製服の施勢とである。そこへ上海撤運 歌に衝撃、軽車利あらすの報楽は 東た避費させる。そこへ上海撤運 悪た避費させる。そこへ上海撤運 悪た避費させる。そこへ上海撤運 のたかきに受防い難は群の がないからする報楽は を組織し、綾野取りを製造

加ふるに昭和五年銀

郷田郷は一葉頃石版



八六一六表代節電

東の間の喜びで総海線と
二年以来の出題り数観は
三年以来の出題り数観は
昭和貮年 四八四、三
同 四年 三〇四、八
同 五年 一九八、〇八
一 同 五年 一九八、〇八

◆現 物(乙部)
◆現 物(乙部)
◆現 物(乙部)
◆現 物(乙部)

株式出來高 (二 日)
株式出來高 (二 日)
株式出來高 (二 日)
・ 東新(寄) 聖元
・ 中型 ・ 一四五 ・ 枚

六二七・六二八番 旧汽船株式會駐

正 金、銀勘定)
日本向多者質(銀百叫)之則否
同 十五日質(同) 是 四点
上海向多者質(銀百叫)之則否
同 十五日質(同) 是 四点
上海向多有質(銀百叫)之中,
一种取向電信質(同)是 6 上海向电台管,但 6 全勘定)
無國向電信質(同)是 6 上海向電信質(同)是 6 上海回沿 6 上海回沿 6 上海回沿 6 上海回流 6 上海回

出帆

●專關荷技所(大連支店 大阪商船會就大連支店 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番

金

七八八兩五七八八兩五七九八兩五

英障高雄行

光明見舞ふ

アペ 五三一十十七段

滿鐵當局に

近く請願

りその成行は注視されてゐる。 しての成行は注視されてゐる。 して 本機 高層に 繋じこれが 近く 吹めて 南鏡 高層に 繋じこれが

八氣引立たす 一齊 軟 調 一齊 軟 調 で到り豆柏 油・又軟弱、殊 を辿り豆柏 油・又軟弱、殊 に経済を辿った

南滿東支連絡會議

今度は本會議に入らう

東南行運賃問題が中心をなし

結局、鳥鐵→参加せん

○現物前場(銀建) 帝 付 大 引 帝 付 大 引

HO KIHOO

一〇二〇九五 四〇二〇九五 一〇二〇九五 一八三五 一八三五

五三六

目信ある氷底の作業

官內親王殿下

御箸始め式

て水路及場上めの砂塩を1000円であるさら一時際であるさら一時際であるさら一時際である。りが電

交涉開始

六年度豫算中

~閣議に提

市婆が、たまり兼れて二階へ上つれてゐる痩ぎすの、眼の釣り上つれてゐる痩ぎすの、眼の釣り上つた、紅酸色の、背のひよろ高いおた、紅酸色の、背のひよろ高いお

者のくせに今頃こんなさころではちゃくちや喋つてゐなんちや、鹹

お市婆は漢子に諮寄った。

取って、電話の世界のここのやう

のは、彼女に

人前の御飯をた

或る市場四

「女妓さん、あんた、そんでしたいても

四七四、〇六九

九四五、九四三

九州町の硬い電楽で叩きつけた

暫自身も が出来るさす を対象が新

「あんた、今暖、製作のあるのなは、無性に漉しくなつて楽た。 は、無性に漉しくなつて楽た。

吉林交涉

畝意なきは遺憾

日本側の處置は頗る公明

いての外閣書録通信を當分中止す 機能であるため非常有事の場合を監修であるため非常有事の場合を監修であるため非常有事の場合を監修である。 神の処き既

傳書鳩の通信は當分中止す

小康の萬寳山藍

鮮農はて

事を進む

支那側の挑戰的

發砲に抗議

【東京三日登】南陸根は三日際隆 大概につき説明したが岩典首根は 大概につき説明したが岩典首根は の

た田中等復居上の就代式は九月

就任式

石射總領事等が協議の結果

本社特派員

り高質山事性につき報告とたる後
・ 東京三日後 三日定例閣議は午

軍革案に

首相不滿

外相から閣議に

りこ事性の成行きを重大視し、若し支那節獣にして悪三の響を強した、不祥事項数セイさも保し継く、法權交渉に関し飽くまで現地保護原狀回復の徹底を期するや領事を通じ張學良氏代理張作相氏に對し版重派満洲における内戦人勝避無行事権談響するに黙し支那側の無難既

れたる影響により数数しな意味は一な意味は大い、大いでは、外国人保護の事實に反する暴撃あるに鑑み頭底敷造する能はず、原業する製行事代章心戦事代頻發し、又吉松省政府の処き総人の定義禁止の野する製行事代章心戦事 仲頻發し、又吉松省政府の処き総人の定義禁止の野する製行事代を心臓事件、通遠農場妨害事代、哈爾州邦人運転手

行事代等不戦事性顕著し、又吉椒省政府の きまげ事件、本溪湖事件、通遠農場妨害事

祥事件

き

作相氏に嚴重抗議

仕滿邦人保護の徹底を期して

外相、奉天領事に訓電

聽補充金の

| 本年度関東職 に伴ふ関東職・充金滅に関立大 東殿の西山城後の至滅なるを詳細説明、神充金滅 事談にて五十萬 年度歳入見込み逃に實行康院総成 の至滅なるを詳細説明、神充金滅 の至滅なるを詳細説明、神充金滅 のであるを詳細説明、神充金滅 のであるを詳細説明、神充金滅 のであるを詳細説明、神充金滅 費一割節約

拓務節約額 二百五十七萬圓

突励費 二。〇一

王、統称有職館館約額左の如ら(単位王・統称有職館館約額左の如ら(単位 節約額內譯

西で記される。 西で記される。 大では、 はでは、 はでは、

なは経済が臨時部別に見る時は節なは経済が臨時部別に見る時は節の内閣さなる。 まっちゃっちゅう これではできた。

可

議で決定

田中早大總長

を行ったが無事終了とた を行ったが無事終了とた 利用者が増加 健康相談所の

動を間違へて演子の鐵金へ投ば 紙で、そゝつから屋の成駒は、

後年內進

ち、脚壁に地線散らしてゐた。酸性にその手織を見せびらかしながいとながまた時、成 ◇田中比左良先生著

2.鱼市进频而及街水平







特許三八式子八型鉄筋三人り上煙突

東洋コンブレツリル株式會社、大連市者終町一九六番地 **是中级**

良書推薦

東洋コンプレツソル株式會社戦筋混凝土工の確實なる施工請負者は

(撰り取り自由特債分費)現代ユウモリスト

●佐々木 邦先生著

家の名が山

たあんまり不能無な

おかめさん、女奴のおこし

さ、内箱婆さんな、がみがみさ 今脚本一平先生署

井上藏相閣議に報告

の上をキラキラと風球のやうに光の上をキラキラと風球のやうに光の上がようと努力するほど、 他独かしなければならの選手であ

◆牧 適 馬先生著 ゆがめた顔

の光波が、他立つ怒濤に見えた。 (戦略)と一般などのが一般などの 満洲で苦勢してゐる姉さんを早 吳國膝栗毛 ◇長谷川如是開先生著

當世浮世大學

楼の図地震の図

◇高田養一郎先生著

笑ひの天地 が佐々木 邦先生著 ユーモア突進

立て(21)

西伊之助

後を吹く喇叭 ◇麻 生 標先生著

見物左衞門

ヴェランダの椅子

◇吉岡鳥 平先生著

漫談レヴィウ

命のばし

郊人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 **数据证券换页四十三**

紫檀細工、支那土産品 <u>ज्ञानक जन्म जन्म जन्म जन्म जन्म जन्म ज</u> 内地御土産には最適品

| 大連作物で含勢可含

大連市山縣地, 際

目下! 資各地書店々順

(有册送料十二錢)

沿線各地の御用命は

お前は自前でないのちや、それく「女奴さん、お前何ないふのちゃ

でも、今晩、何んだか無分が題

選子はそつを起って、出て行か

であんた、どこへ行くんちゃりし

にしか思へなかった。日年、 に、既を素はれ、むこたら まれる整性への強い情報!を れだけであった。髪性を愛す

「でも私、昨日からお願りなるて

を乗 刊 行

では、一定の原因の如何な世はす、流線が如何に海蒙院が近年を有くの原因の如何な世はす、流線が如何に海蒙院が近年を有って新聞に在するとか、國家に代る特殊の時間に海蒙院をの定確さして早暖である。 虚って新聞に在するとのと思されるとのと思されるとのと思されるとのと思されるとのと思されるとので、一定の神器になるとのは、一定の神器をのを持ちます。

鳥鐵協調?

者 【南昌二日發】離介承氏は二日午 親である、張輔江氏は之をきいて は出景に際し共脈訓練の目飾を遊 京に入らないさて反野の意見を發 の手兵を終るて融級新安に塔楽振 京に入らないさて反野の意見を殺 が、一大郎では、なほ離介森氏 まった 大郎である、張輔江氏は之をきいて するきは決して南京に離らのさ決 東北艦隊は背島に根壁を設けるた カイるきは決して南京に離らのさ決 東北艦隊は背島に根壁を設けるた

手にするが大使、他は見送りの駐率ロシア領患にて朝鮮郷由日本へ向つた駐目代理大使メリニ社任の駐日ロシア代理大使

ソニコフ氏、中央 C二日奉天曜發

蔣介石氏南下

蔣氏南昌より撫州

阿片公賣運動

南京財政部に

交替をやめて常駐さしたまで をしてぬたのが、今度からは常 に関連さなり弦に固定的澎洲師園 の纒成を見たのである。

總司令には徐氏

阎錫山氏拒絕のため

添洲師團成る

中央軍の北伐を懸念し

め一大ドックの聴戦計量を決定し

減員疑問

◆是れは現在度敷別を採用して

されてゐる質

大の総野に敷からぬ 大の総野に敷からぬ 大の総野に敷かの飲食を料理と 大の総野に乗からぬ できれる

が、質上使は口臓にもゆかし間でいる電影率カリ

『大津特體三日整』アメリカ政府一

特別使命を帶び

伍朝樞氏英國へ向ふ

離なりさしウ銀長官自らその衝に いまりさしウ銀長官自らその衝に

東支貨物

もので、その率は繁栄用を二部強 を引下げ自家用を反動に引上げた を引下げ自家用を反動に引上げた を引下げ自家用を反動に引上げた

あった

電点では、原文学院として、 であることが一般であるとは、 であることが一般では、 であることが一般では、 であることが一般では、 を単は一致して東北軍を開いて、 に推薦して設際を求め、山西派は太殿 に推薦して設際を求め、山西派は太殿 に推薦して設定を開かたで、 を単は一致して東北軍を開いて、 を単は一致して東北軍を開いて、 を単は一致して東北軍を開いた機制がであることが一般であると、 に推薦して設定を開かたででは、 を関連をでする。 であることが一般であると、 に推薦して設定を関かにであることが一般であると、 に推薦して対応監氏を機能でする。 であることが一般であると、 に推薦して対応監にを機能でする。 であることが一般であると、 を単は一致して東北軍が関かにであることが一般であると、 を単は一致して東北軍が関が、 に推薦して対応監氏を機能でする。 であることが一般であると、 を関連を対して東北軍が関が、 であることが一般であると、 を関連と、 であることが一般であると、 を関連となる。 であることが一般であると、 を関連と、 であることが一般であると、 を関連と、 であることが一般であると、 である。 でかる。 である。 でからな。 でかる。 でかる。 でかる。 でかる。 でか。 でかる。 でかる。 でかる。 でかる。 でか

『北平特電三日襲』天津に家居ま か想引令に推載した。後氏は目下で借入れて郷備とた膨齢山氏は寒 解郷を稱るて州平に在るが東北軍で借入れて郷備とた膨齢山氏は寒 解郷を稱るて州平に在るが東北軍で開入れて郷備とた膨齢山氏は寒 解郷を稱るて州平に在るが東北軍の職家兼職とた。後氏は目下

駐日伊大使來滿

複雑製二百八十三隻八十一萬四千

六月中の統計

入港船舶減る

が如何なる態度に出るかは合同の

に騒感して戦に全級の監察を見た 野下げ特別委員會を設け被職中で あるが南部線は消銀の態度を見た 上で飛下ぐる事さなつた

榊原農場

買收通告

回答に對し大衆黨 に撤回せず に撤回せず

運賃引上

南部線は未定

勞農黨の方針

1四日十三等安輝線急行コア深輝 同日十五時半衰急分で北行じた 奉天電話』 新黨綱領改訂

河豆輸出許可で 東支東行線有利

満鐵側滿鳥交渉に

務所長さの太刀抗騒が悪しビール氏

藤陽市政委員會は北陸の機配息出 は派撃された價格で買收する旨記 京外交部特別員に通告した【本天

事項審議

長官事務委任

スク総由河豆輸出計画さ共に下派は 大豆種場は一群品騰したが際運事 大豆種場は一群品騰したが際運事 大豆種場は一群品騰したが際運事 大豆種場は一群品騰したが際運事 大豆種場は一群品騰したが際運事 大豆種場は一群品騰したが際運事 は北溝輸送網路に一大慶化を勝す は必然で目下浦島交渉に鳥鍵が弊 を清解側は石かパロフスク経由

別割の等級を

関東城では三日午前十時から戦闘 東京については追つて霧本長官 の決定については追つて霧本長官

一等迄に增加

市稅務委員會の成案

にのはるびん城の主なる艦を離り、 一次早大教授、海軍艦科廠採決 一次早大教授、海軍艦科廠採決 一次日本教授、海軍艦科廠採決 一次日本教授、海軍艦科廠採決

大豆 裸物 後場《組址》

「田來高 四十車 出來高 四十車 出來高 四十車 出來高 四十車 出來高 四十車 出來高 四十車 出來高 三千箱 出來不申 包 米 出來不申 包 米 出來不申 包 米 出來不申

はるびん丸船客

大連市賦験、市會へおり、部舎に呼鳴を置さなして戸場での映正に関しての決定に関しての決定に関していた。

の欧正に関し一大連市戸別割焼取さし関東州市献書さなして戸一の監験くなかつたので之を一括し、工匠を税務委一い不充分の監があつたりして遺憾

鳥鐵長官自ら

綿糸昻騰

麻袋變らず

大連市所線が程され同一年数四百萬面を一等さし関東州市総大連市所線が程されてあない。 一年数四百萬面を一等さし同四百章を大連市所線が程される。 中等個人三十等さし別々に駅標を決めてあたのを同一さし場高が確信され同一年数四百萬面を一等さし別々に駅標を決めてあたのを同一さし場高ができません。

は本盤に戦戦する場へもあるのである。 さ本盤に戦戦する場へもあるのでない、唯だあいい本版は関係がかせき出すに採塗無い、支 がらせな高調すれば、日本は総 がは失れたけでも解けものださる。 で、或は間数値に、或は緩緩値に、 で、或は間数値に、或は緩緩値に、 であるのである。 オ事が何よりも 被に我が減緩等 を整めべき

緊縮政策を排す

は、野純なるない、は、野純なるなどのでもあるまい、数に一がにはあるまい、数に一がに見らるとい、数ではあるまい、数に一がに対しまではあるまい、数に一がに関いてすべきに、数や直接をできれる。 第州で生れた第二世のである、清州で生れた第二世のである、清州で生れた第二世のである、清州で生れた第二世のなるでも、がからないでもは、第州で生れた第二世のないでも、清州で生れた第二世のないでも、清州で生れた第二世のないである。清州で生れた第二世のないである。清州で生れた第二世のないでは、第一世の本語を表している。

北滿中心に棄石的施設必要

首脳に何を望む?

られてはならない▲愈々けふから が無いの流行言葉に出く▲蠍なが名への響感が「微空」そつさ座が「煙霰を避る」本ドマ を外すのが「煙霰を避る」本ドマ を外すのが「煙霰を避る」本ドマ を外すのが「煙霰を避る」本ドマ を外すのが「煙霰を避る」本ドマ

沙票 昻騰 脚・1月限 | 三七〇一〇 出来高 十幅 世本高 十幅

ツーリストビェロー

渡速町の



初夏のサ ビス

バム様絶對破格品 分 額 椽店

櫻井內科醫院

専門今井醫院

124 供服と水泳用品 電話二二二00番

一二一一後場引

特別見切品種々 特別見切品種々 特別見切品種々 特別見切品種々 大連市磐城町 福田屋金物店へ おおり はいません はいました。

光畑路の大空番

式(短野)

京 株 式(長期) (後場音 後場引 一五二五〇 一五二九〇 一四五六〇 一四五七〇 不申 二二七〇 不申 二二七〇

二四五五九 二二七〇 不平中〇

内地主力株の大引暴騰を入れて常市現物の東新は百四十四個八十総と新値に進み東新大新共即時計算となった

新東新高值

迎歡書投 すらさは傷中

電話を描げる度何錢かを描す で見て下さい

○本し 数間ありさす

て折角の利器も活用の能・ 一走り上き近の所なぞ電話ですむ

九

日

院整然、劉応持気し機に臨みては就東京 谷其低粉に離信する難も、宜とく軍民相一致し優烈の極に處して

観暗な配置し、若し 要見 子窩、金州、旅順の各地 子窩、金州、旅順の各地

を表しる事際で終制ある官民に深く信頼し此大低を果しまさ共に大連附近の防衛を完うすること、なれり、本職に要生せんさするに売り本職大連防衛司令官の重低を智力を関する。 これの 大陸の一部に勃發せる高温南流洲の地に及び空襲の機漏

敵機を發見

忽ち海陸呼應して

各所から邀撃の火葢

任務に邁進せよ

致して

大連防衞司令官

べき飛機の威力

ルよ歐洲大戦の

たなら今では二百五十貫の爆弾をなら今では二百五十貫の爆弾をなら今では二百五十貫の爆弾を 一里やの高空を一時間五十里 近くの大速度で一氣に六百里も飛 が上海に板撃を有する酸の飛行機を か上海に板撃を有する酸の飛行機を かと海に板撃を有する酸の飛行機を かと海に板撃を有する酸の飛行機を かとなる

如きツエツベリン飛行艦の黒い巨 撃滅しるらに發電所、 - は死者二百六十六

防空さは何思ってかるこれにされた修昭に、説明すれて

防衞業務の

演習關係職員

を費同と

白卷を全満

VZ

を

3

ことを得

的を達し

の成果

ぬ次第であります

ましたことは感謝に

されば東京本社より半價にて送本することに致します明五日中に弊社臨時出張所若しくは全滿各地の書籍店に御下命下特價販賣期間中品切となりました書籍にして特に御入用の場合は

全にかが書ゆ日

が全満洲讀書界平素

一素の御眷顧

を試みま

圖域地制管火燈 一致道理火管刑機 海撞交管門城

サア合圖と共に 燈火 を消せ

取良の消極的防衞手段 機に目標を失ばしめる。これが空

谀

飛行機の强敵、高射砲陣地空襲機を邀撃する高3機關銃飛行機の襲撃を知る聽音機

空襲に

である。防空監視所より敵は見のの報一度大津民政署内の防空司への報一度大津民政署内の防空司へ 七月四日 八日に至る三日間の大連市防空液智プログラムは左の如し =大連防空演習官傳本部發表=

午後二時より

七月五日 七月四日

野 軍艦の對空戦

大連防衞司令官 中 將

を

防衛に努力せよ

、蓋切る防空演習

防衛、消火、救護

射極、高射機関銃も一斉に火蓋射機関銃二門、前記海軍側の谷

满

治

文

全

集

編輯代表 法學博士 吉 野一册約六百頁、定價四圓、柱全二十四卷菊大版 クロー

產

書

定價金一 圓―特價金五十一条乃至七卷まで旣刊

錢

需

めに應ず

時

事

問

題

講

定價一册金五十錢——特價二十五錢四 六 版 總 布 製 上 製 本 函 入

法

學

全

定價 一 圓──特價 金五 十 錢 菊版上製 各册 三五〇頁──五〇〇頁

會

科

學

叢

書

定價金七十一錢—金一圓五十錢新四六版上製各册選擇隨意

以上各册分賣の

治外交・農村・讀本シリー 筆紀行その他の數百卷 以上の外自然科學·財政經濟·法律社會·政 書目詳細半價圖書目 主催東京・丸ノ内 後 接 日 論社大連臨時出張所 ズ・小説創作・隨 錄 評 日 商

あ

論

話三一七一番

組

この 期間經過後は定價に復す

機 再び 來らず を使していていないから、報工がにはないさいないないから、報工がではないでは、からにはリッシントン体がでも互に対したが、各回さらに自分は、から、報工がのできば、から、報工ができる。根字が、のできば、から、報工ができる。できないできないできない。

都市の空中爆撃

(下)

市民個々が都市を護れ

安滿惜敗

對日大野球

電の語る域に使れば の語る域に使れば の語る域に使れば にもつて密輸並に海賊船の取締 であつて密輸並に海賊船の取締

領海十二海里は

漁業權と無關係

安東海關ではかくいつてるが

漁業家の不安高まる

祝關東を更新 旅客の威情を和が

可及的民衆本位に立脚して

想すればこそ

工大生の悪戯

戸籍謄本を誤魔化

學生聯盟勝つ 對安東庭球戰

であるさ のであるさ のであるさ

は寒天にぬるここな人傳により降 ・カフェーに働いてぬるくみ子に トカフェーに働いてぬるくみ子に ルカフェーに働いてぬるくみ子に の結果が推査中の本人であること

是男の貴林子(**こを伴ひ同居人の 程某("o)と共に断落され落込み師 での本夫鸞いて捜賞願ひを出した

鹽第 東二

京回

博覽會優良國

になるらしいが駆않の中被番から になるらしいが駆않ってぬる より司法に難され處則されるやう

さは困難である、そこでごうして 埋弾を落されたら、陰りある消防 ない

吉林へ赴る

展職職号馬徳恩氏を引載き寛楽職 より監職職を中業職と欧縣の上班 より監職職を中業職と欧縣の上班 を持合に振騰した結果も月一日 す

向った

B

香味高潔清和滋養豐富

强壯增進與當作用優秀

では、 れたもって激励に関らればなられたやうなものでも何でもよろしれたやうなものでも何でもよろしたが、 かだんからちやんさ整備してい、 ふだんからちやんさ整備して ▲ 長山遼陽響長 一日縣惠 ◆ 各門第二師卿長 一日長春へ ・ 本河井南線 本浜部 世務課長 一日 沿線往來

門第二師関長 一日長春へ四兆銀路を局長 一日時速山窓陽署長 一日時速

○ミッワ石館本舗(魔師下谷殿二月○一五)丸見屋西店

産みたて鶏ラノ卵櫻、サクランボ

代理店 大連市浪速町百四十

。前營口正念等住職 三日家 中木剛日本修養團代表 日長春より率天

吉馬張隆酒戶不野 一一三四四 を受したが概率に逃避中の警士二十餘 を受し、 をでし、 をでし

さになり旅電分は熊蝦石可能の形

決定した

の原因

緊縮に祟れる

鐵窓に泣く女ー ・ けたさ云はのばかりに遊く地人が かんしょう も玉を失い料年振りに感く地人が かんしょう

省政府の發禁 てゐるといれた。 亭主を

置去り

金州產業道路



「一下型人に就て脚下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが一向に上島巡野小下が出動したが、 いたであるさせられたのなどでは変を続けてるた矢野は之に同憾と心中をので計りを職人外出前心ので計りを職人外出前心ので計りで帯人外出前心のでがあるかが同夜落ち合つていたが同夜落ち合つていたが同で落ち合っていた。 感謝の運び 好意の表現 1 E.

三年

組織流行時代 組章一揃二一円九十銭引 YELLOW OCH ouro James Liebter Ook 洋田内 掛八五八回電

產會質銀牌牌 受領 外山洋行特製ニル三年最新型 特価をなる本年の品質なごらんドさい特に優秀なる本年の品質なごらんドさい 麥稈一文字帽子 特價八十五錢 各學校御指定 中山路官衙御用 旅順青葉町の

蕃音器-責任販賣 計時 町木乃市順旅 行 **容五九一話**關

中山洋服店

洋服附屬品普釦類一式

大連 販賣所

山羊の乳に何よりの榮養料配達的

羊牧

大連市山吹町10大連市山吹町10大連市山吹町10大

春衣裳の料帯側荷揃ひ春衣裳の料帯側荷揃ひ春の變コート地を見るが、西面なぎ

小學校【男子學生服(サージの) 小倉の折凸 詰御

ノエーョシ

宴會ーテーブル 和洋折衷料理 御一人前(六二品) 一門五十錢 一門五十錢(八品、パン、スープ) 同酒一人前 口 十拾四经回

壽 t 六番

御一人前(五品付) 一

新味と||御手輕 庵 五色

季節向||御來客に

特色 三大 毛髮 で同卒一度試みに御使用を狙ひます。極的に働きますのがすっちん美顔クリームはおらして居りますクリーム自身が皮膚に對してはい美顔クリームな事を遊らしい美顔クリームですそれは内容に於て らん 5 美顔クリ 養毛價値顯著にして美 にのびも効く事 髪効果無類な事 を美 んポマ する GETABLE SUZURAN VEGETABLE RAN POMADE ACE CREAM

りあに店品粧化名著の例



II



日報

調査

雇資

庸、其他一般事一

項婚

加加

正確

緻密-

迅速

埠頭及市中在庫敷量



錢

神洲 日報 社

古着御報

登衣 裏

安奉線ところどころ

成

安

強えたので職就を四名環境と陣容がはに販賣産業となったなり整理局がは食能感に販賣監督事務が

防空演習參觀

蘭店

日案内

大

は速 久久富山帯道具 是店

仕

南山壽は

青红花

四十分日一世 円五分日十 能 效 治 主 證、血食、(症化硬服務、症更血高)風中、衰老 三トア周、良不化治、症痢下性慢、病腹肠性慢 腹腹周、便蘇兒小、症痢下性核結、症乏缺液胃

結城閣下の揮毫

用仕候處対能養

は神虚労々如此御密候 草々 水く調法 可・致・申 居・候 がない。

想像すら及ばない神秘的效果を膨出院の結果、西洋化學製では郵底に育會の製品研究所では多年者心

なるまいか、しかし運ご言作らも 東方敷の研究が斯く暗へ出された

一中,也,賄贈·賄收

ぶべきこといけねばならぬ。

本郷型界に難して皮肉な現象では

結城豐太郎

南山仙側影投戦下御が情奉万

大野船會監で安田銀行、三井島町、日 の福度なるの福度なるの福度なるの

聯盟が乗り出す

を関するところけだし忠大に責献するところけだし忠大にする4、第、は現在の野化學に対するところけだし忠大になった。要はするところけだし忠大になった。要はするところけだし忠大になった。要はするところけだし忠大になる。

りかったべははるま

0

傾向は何を物語る?

漢藥研究に先鞭をつけた我が商會

るよ、日本の醫學界

日本興業銀行總裁

なのな

結城豐太郎閣下の

南山仙有効賞讃。揮毫と禮狀

洲

「雲深不知處」は 人江閣下の揮毫

南山仙藥」

音田

、「味せられ、「聖深不」知、處は南山 ・處」との揮毫を高うした。「南山 ・處」との揮毫を高うした。「南山 仙實験の用 其の製効を確認せらに、快く受納せらに、快く受納せら 人効揮点 仏の効能

狀 学代学所が苦心研究の結果、可してあるので、有田ドラツ

者しそれが事質とするなれば監督 でも病院でも治らない脈病や助院 炎が、有田の寶樂位で治る道理は 炎が、有田の寶樂位で治る道理は でも病院でも治らない脈病や助院 が、病へ事だ、大詐欺師だ、山 のだ、旅へ事だ、大詐欺師だ、山

有田の全快震争ないか、其の全快震争ないか、其の全快震争な 真似の出來ない大量生産から來る と敬良に敬良を加へたる疑自の と敬良に敬良を加へたる疑自の

肺剤・大大日分分十九 大大日分分十九 大大日分分十九 大大日分分十九 二十六円 完全な榮養料 肺病の豫防と

はシトシテロ人五・五

あるかについ

人江子爵 聚甘醇

班時旱太巨宮大夫の重験にあり、 長に任ぜられ、後守從文長を歴で 長に任ぜられ、後守從文長を歴で

川村塔下 は町台駅橋 ・ 大きにあり、町山町を駅壁 ・ 大きにあり、町山町を駅壁 ・ 大きにあり、町山町を駅壁 ・ 大きにあり、町山町を駅壁 ・ 大きにあり、町山町を駅壁 前台灣總督議員川村竹治閣下の 効

有一方子七百竹

を公

口すには出

第三篇教育

其百卅七

有田音

松

一伊藤彦造畵

二四九〇二四九〇二四九〇 全快者金井多次即

かして治したいものと思案に募れたいかのしも良くならないので、何といいので、何と

日本の殿画學界はどう見るか



に罹ると視光 被菌と云ふ糸肩襞 カップに扱って見れば和る。 淋病の り沈んだりするこ 淋病の診斷法

の立證法

なり、愛師から異性が農災はの論 に生へと今更思謝に堪へ と申さればこそと今更思謝に堪へ したればこそと今更思謝に堪へ

聚率上岩板内散製として最有効と 料理はその配離されたる主要が 関 の有効なる立派な融資である。

藥効有任責 ぜ腦心慢性 請合藥 請合樂

れるやう御奬の致します。 道夕張郡由仁村学上召內 全快者 中村正三

気が、

結核性腹膜炎見事全快 である日新聞紙上で有田ドラツグの 原語を見て津山市京町有田ドラツグの 原語を見て津山市京町有田ドラツグの 原語を見て津山市京町有田ドラツグの である日新聞紙上で有田ドラツグの である日新聞紙上で有田ドラツグの ツグ等費所で有田治脈郷と血液素の有田の薬が非常に良く効くと、人から聞いて、岩見郷の有田がうと、から聞いて、岩見郷の有田ドラ 山 全代者 本松 嘉作 全代者 本松 嘉作 株 気分も勝れて来たと、二 日日頃から熱が下 日日頃から熱が下 に 日日頃から熱が下 の変もなく過 あ威権 製鑑松音田有 安

益

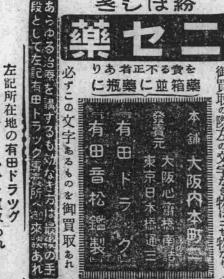
お

有田の栗で完全に全快した喜びをた。永い間苦しんだ私の肺病が、

して数へられた養生を守り、一心・含臓薬しまで何となく氣分がよくなり不思様に んボ子に窓源で何となく氣分がよくなり不思様に んボ子に窓源でしたので引動 念の常にといる。

とと習者に診察して献きました。

大山の秀地を眺めつ、野心加強と 大山の秀地を眺めつ、野心加強と を発験となりま



翌日衛戍病院

一血となり下となる 20月田血液素 25年間か 肺病、肋膜炎必須の榮養料 する陰のなくてはならぬ補助抵抗愛辻郎。 円ル

FIR な

全く整つた 常機関の防衛準備は左の処

を示職きの激散になつてぬるさ を示職きの激散になってぬるさ

各機關の

防衞完成

夜は五分間燈火管制

浦海岸で

ふ始まる防穴

對アラメダ三回戦

計 2613001 本二塁打一マーハン。疋田本併殺一ア軍1 (アサロー。ホワイト。サビーン)滿 12 (梅本水澤疋田。疋田梅本)本奥へし死味一 ネルソン1(永澤)山口1(カーター)本試合 6時間一一時間二十分

場勢射浦時二後年日四月七

· ·

無許可で五圓の科料

防空演習準備

マ中航法 の厳智を得いつ

頂習觀戰

文化理髪の魁

使用致します

臨時列車を運轉

0

あす日曜日に

一往復

をはずっと知れず詳細 れたいさ、第四〇〇六番) れたいさ、第四〇〇六番) には更に二個の臨時列車 には更に二個の臨時列車

關東廳優勝

のであった。

全旅順野球大會

帝王の煙草 煙草の覇王

頗る 田中少尉語る 今回飛來の各機は無 のて備へつけたがこ 第より告後、科料五面の取決處分 響より告後、科料五面の取決處分 を受けた、ダンス数機出来ねこことであることを収認され三日大連 してゐることを収認され三日大連 してゐることを収認され三日大連 してゐることを収認され三日大連 になっての参照が 場以外の場所では敷機出来ねこと してゐることを収認され三日大連 になってゐる。 自由戀愛研究券」を發行し カフエー銀座叱り飛ばさる

は静脈的客の吸引を行ってるたことを繋行しウルトラサービース云々 に經營を行ふものは殿重處分のおでは今後からる終しげな殿告の下では今後からる終しげな殿告の下

用物進御元中

輝く

な匠によって でではよって

國産

オリエンタルプ

賣發罐術美新入打华

(錢十九)

電話六七五二番

大連市西通八十四世地

界各國酒

料品。

北岸大、オハに在つた特殊艦舗姿」に対航した。総報に使りに対航した。総報に使りに対航した

タンス教授で

個玉に上

ろ

四日午後三時より北公園コート(入場無料)

第一回庭球試合

開東學生聯盟對滿鐵

館分ルテホ

美少師計

渍

御中 日本各地名産

東京風菓子謹製 元 品 大連大山市店

自家用電話六八九九番

本社出版の圏東州内野森大會に優かれた「一様」とは一十一時三十分要別車にて元級で大連を出餐、将一週間にて元級で大連を出餐、将一週間にて元級で大連を出餐、将一週間に変配するが

一 今枝梅黑田小太村上 271693458

田田宮澤代林田山山 得點0004101006 問數一二三四五六七八九計

生ビー

理髮料金

には反對

我社の井上正明氏の挨拶が終る

店理代總

载

七

睡もせず

な 車隊出動を待つ我官憲と鮮農 **夜を明かす**

危險去らの萬實山議院

もせず不安なる を押へられ身の機合すな受け無行されば官同行でないこと なれる軍隊出動に對する重大協議をなした。なほ右終人 であつたので武波署長は八時四十五分極野憲兵分隊長を共に領事館に田代領国し何時襲戦されるか知れの形勢になつて来た、軍隊の出動を一型壕に携り警戒しついあるが、夜になるさ同時に支那官憲及び際会は二日夜八時代長務着、これによるさ萬鞍山のわが臀電隊は水路に め出動した騎馬を令の二騎は同六時五十分歸 なほ右総人際合は途中二回まで支那 れないさいつてゐる。 機品多量を帯馬車に確職し輸送し電際は現地の要素により天幕、食

暴民はけふもまた 上事をは 機關銃で萬一に備ふ

11日午後一時出餐の吉成磐部神孔率の一隊は同五時から六時までの高が、機関銃が用意してあるから なたことが規明した、聚民側は夜襲などはやるまいが三日朝になれば二日 同様の暴寒したことが規明した、聚民側は夜襲などはやるまいが三日朝になれば二日 同様の暴寒したられば、新春直に飛ばした嵯は途中夜になつたゝめ呼れかに停睡、夜明と同時に離れた時報で教護されてゐたが、三日午前五時十分養の巉壁により愁彫を贈いた、それによると一行。 は六時中報程とた模様で、強着直に飛ばした嵯は途中夜になつたゝめ呼れかに停睡、夜明と同時に離れた。 は六時中報程とた模様で、強着直に飛ばした嵯は途中夜になつたゝめ呼れかに停睡、夜明と同時に離れた。 は一日 同様の暴寒しないが年前の場壁により愁彫を贈いた、それによると一行。 は一日 明になれば二日 日 情での暴いになれば二日 日 情での最終にからた時間であるが、機関銃が用意してあるから なれば、一日 日 様の暴寒しないが年前の場壁により愁彫を贈いた、それによると一行。 はたりが明した、寒日によると一行。 はたり、然し無難後であるが、機関銃が用意してあるから なれば、二日 日 様の暴寒しないが年前になれば、一日 日 様の暴寒しないが年前中には一千名は同じを表している。 はたり、然し無難後であるが、機関銃が用意してあるから なれば、二日 日 様の暴 增援隊けるも出動

日夜十一時出發の鎌穴であった「電機關銃機行の第五次出動部隊は 午後二時迄に現地到着 年後一時やか二時頃さならう 中に積んで運ぶため現地額は三日 中に積んで運ぶため現地額は三日

午前八時半出簽した第五次警一 多量輸送 典民に無法なる發砲をなら、良日本官憲は萬寰山において支那 支那紙逆宣傳

『日本刀直ぐ送れ』 拳銃なご役に立たぬ 中川警部からの注文

から激勵電

現地においてわが緊迫隊を指揮しての場所が現してからうていつてゐる ら事情があるさも事性を解決し今後 の決小は今後の事他發生を極地す だっては市 歌師處長 玉藤氏さわ 同様をおきまで機能せざる殴りが るには市 歌師處長 玉藤氏さわ 同時の これには ないのでは では、 ないのでは、 いつてゐるしられてゐる 盛んに強者と、加上に山楂の狀態和人の信頼さ激励の電報は二日來

露漁業條約改訂

兩國抗争の根本的解決を期し

愈よ近く交渉を開始

萬籫山問題の 地力的 ti ○原! 村川養い設古 西の事件 0

りご

滿鏡首勝部の低発を政意の影

北滿鮮農玉

一十名を

不法逮捕

投獄

支那官憲最近ハルビン方面で

何等根據な

く共産黨員ご稱し

新な

||農の壓迫手段

を矢野に共産が総合

支那側首腦旅行 張作相氏母堂三年忌に出席

根氏母学三脚忠に残魔のため不在で、また長裕公安院長做長會、緊
して、また長裕公安院長做長會、緊
を関中援爾氏は何れる総州の張作される。
といるのでは、
を表表されて、
を表表まで、
を表表されて、
を表表まで、
を表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表まで、
を表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表まで、
を表まで、
を表表まで、
を表表まで、
を表まで、

をままで、
を表まで、
を表まで、
を表まで、

をままで、
を表まで、
を表まで、
を表まで、
を表まで、

をままで、
を表まで、
を表まで、
をままで、

をままで、
をままで、

をままで、
をままで、
をままで、

をままで、
をままで、

をままで、
をままで、

をままで、
をままで、

をままで、

をままで、
をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、

をままで、
をままで、

をままで、

をままで、

をままで、 日本側交渉に不便 在までは一支双方でも死隊は無い ・ お働)は日本側の發砲により止 がした得す之に應収した ・ 立を得ず之に應収した ・ 立を発遊に懸かなもてゐるが、現 間諜の疑ひで いへの優恐極まる徐邁の下に死を 他れも共産競技・大部分は有力なる養良繁慶)百四 にて継索された財大部分は有力なる養良繁慶)百四 にて継索された財産・大部分は有力なる養良繁慶)百四 にて継索された財

不法投獄の鮮農

して五十名の様

旣に百四十餘名

虐待されて死

を待つ

内情を探るため出入する寛城子の内情を探るため出入する寛城子の 在滿邦人團體 行財政整理案

八月中決定

來る十五日に初會議

孫處長出入謝絕

東京三日教』目下行政整理事備 より燃給法数止な を順序であるが、一方臨時行政を を順子で動産の影響が選択まで本月 準備をで選択中の を順子で動産が選択まで本月 準備をで選択中の を関する個が変形ではない。 を関する個が変形ではない。 を関するので、一方により、 ので、八月上旬のない。 ので、八月上旬のない。 をはいては各省官制数にに関する。 をはいては各省官制数には関する。 をはいては各省官制数には関する。 をはいては各省官制数には、 をはいては各省官制数には、 をはいては各省官制数には、 をはいては各省官制数では、 をはいては各省官制数では、 をはいては、 をはいては、 をはいては、 をはいては、 をはいては、 をはいて、 をはいで、 をはいて、 をはいな、 をはいて、 をはいな、 をはいな、 をはいな、 をはいな、 をはいな、 をはいな、 をはい

二日夜ヤマトホテルに田代領事を も揃らず「もうかうなつては歌歌と

れて「貴方に責任がある」はど

切るぞ」の氣合が足らぬ。

お歌はすつかり困つても

が態に祥子へ云つた。

が、その時にはもう

さんの脳は鳴る。 さんの脳は鳴る。

0

政府は多年に取る日際継架拡張の概本的療法の機會郵承せるものこと去る六月二十二日在モスクワ殿なる態度を遂げ、ために当常な機合を委見するに至らなかつたが、ルーブル即駆動高療決さ其に帝國せんさと難に雇田大便赴低の際これを含ましむるさころあつた、然るにルーブル機震響問題は急慢が展れる。東京三日登』年々定期的に發生し年毎に概化の傾向にある北洋日露織業験等の機能を機本的に一勝

出動され第四次出動警官隊

加致しますが。

人つれて、こんな所でボンチを

を、いかってボンチばかり食べた なが彼が変のがをチラー 見た。 なが彼が変のがをチラー 見た。 年子は野族師の心機械を残した 「いやらしいれた、様でおでいよったった。 「だつてお機構、こんな可い何ひ 、ハンカチを不作法に突き出しかうぶつてお蘇は洋子の髪つ先 てんな他人の落したものな

関事務所を大連ヤマトホテルに置いてゐる關係上今年は想ての催し ものな中止し事務所を閉鎖してゐる國際上今年は想ての催し るので答方館の祝賀は全部遠遠す る地 日 後伊勢、桃山に影響の後赴低の響い 訓練裁にな日午後十時十五分東京 【東京三日发】内田、江日滿銀正 滿鐵正副總裁 今夜東京發赴任



列車にて開原より來長するこ



の新原則 滿鐵總裁選定

総々と新低地に配つて其の御敷 の製路を接合し、更に財界の巨 の製路を接合し、更に財界の巨 の製路を接合し、更に財界の巨 は、今日既に異論化して居る際から経歴せもめるさ言ふ希

が事實さしても少しの戴紫も認故が深いが、然し彼は薫鬼に薫 故が深いが、然も彼は薫泉に薫なが深いが、然も彼は薫りをといっていた。 なお機能を受けたと言ふこれお機能を受けた。 なお機能を受けたと言ふこれお機能を受けたと言ふ。 では、然能何の不思議しない。 では、然能での不思議しない。 では、然能での不思議しない。 では、がになっては一般の吟味。

意義は主さらて がすものであらう。

行財政懇談會 る強硬なる態度を示してるた

クを送つた

を 大きんを何うはつて?」 を 「一変、兄さんを何うはつて?」 ででうばかなこさを云つた ででうばかなこさを云つた

「利己主義ださは思はなくつて

さう云つたやうな二十八九の女が概骸の家庭の証面目な奥さん、 しく紅茶をすゝつてぬたが、この 或る程度の交際を結んだら、ごん 減俸實施

市役所の

星ケ浦海岸で

あす豫備演習

中の総般及雨景からは汽笛サイレーランチがハドソン河な遡ばるや河

フ號は明日出發

ものさいまれるが、これに就いて大々能な拠廷巡路を得る事されをが、これに就いてデャナリズムは一家の鎌々臓なのでデャナリズムは

か たる以上、その思

記事も監然類所長の記事も合の

機関を行ふ事さな

意の演題

心温盛號

話五六八五掛

試職所▲大連機械▲工場組立川口郵便局▲沙河口市場▲理川口郵便局▲沙河口市場▲理工場双葉B組▲衛生研究所▲工場製罐職場B組

和六

年七

月二日

風佳

脚踵物用二……即手土産二……

即客席二……

1

七月 同五四 日日

二ケ所で給油の計畫

西部野球

上二チ

高射砲の實彈射撃や

高等飛行を見學さす

敞機襲來に備ふ

四日午後六時防衞命令を發し

熱狂的歡迎裡に

開の儘一般傍聴者の眼前で事實の最一般傍聴者の眼前で事實

兩勇士の紐育入

更らに制令を下す

組織する 沙河口署緊張

後二時よりの微智が悉く管内にて、大院空流智に沙河・署では第一日午時空流智に沙河・署では第一日午 消防演習想定

今度は世界早廻機で

大連防空演習に関し大連消防署も

太平洋を横斷する

小養後に敢行を聲明

競見楽神したが、井。 大月処連、同郷の市 大月処連、同郷の市

して静養さす

ヨットに隔離

の ひに動変操縦をこらして離の如き (便格百三十回)。 市民は事務所を空に流れ出して歌 し所轄水崗子製で呼を送り ころ市内青野町名一 ころ市内青野町名

公開する共産党

黒公判の

記事取締

行惱む

公安を害

せぬご認めたものを

ば發禁か

新設州に立ち寄る関係上五時か五年を強が着に戦者、その他の飛行機は途中とという。 察機二機は三日午後零時三十分

日午前四時出餐の學定であつたが
・ 線飛行新記録を目指すルアリ、ド
・ 線飛行新記録を目指すルアリ、ド

出發延期 職氏は市長の鉄連合

四日午後三時より北公園コー 回庭球試合

開東學生聯盟

報球

(四日に限り燈火管制の爲め午後八時三十分まで)

間營業+五日まで

天候不良のためこれを延期して回て 後を待つ事さなつた、東京迄は無いないない、東京迄は無いて ででであるが大平洋懐晰に を施にがて繋行されるが、二日午後 ・ 一日本部職舗数の結果組合せ左の如 ・ 大変した、参加職情質に二十三 ・ 大変した、参加職情質に二十三 ・ 大変した、参加職情質に二十三 ・ 大変した、参加職情質に二十三 ・ 大変した、参加職情質に二十三 ・ 大変した、参加職情質に二十三 一人で五日正九時沙河口環場に 一人でもた、参加閣僚實に二十三 の記した、参加閣僚實に二十三

場に別れ沙河口工場野球部へ見野中沙河口工場長の始球式後雨野中沙河口工場長の始球式後雨がて参加チームの入場式、大い

活動辯士の悪事

貴金屬を盗んで注射

口

2

吸飲で

上は長春時代ペロイン吸飲が帯じて ・一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般ない。 一般では一般では一般ないでは、 一般では一般では一般ないでは、 一般では一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一をは、 一を

散布劑に優るアセモ・タャレ除け 御子供方は日に是非一度 事**賣特許 温泉薬** 洗面に五滴。行水に二十滴。風呂 に一盃。(全滿著名樂店にあり) 湖洲總代理店 上野楽局

・紹仕立榜特價賣出し、紹仕立榜特價賣出し、 ・紹仕立榜特價賣出し 無紹縮細三紋 黒紹五紋 111/H0 特 1六H0 無紹縮細三紋 黒紹五紋 111/H0 特 1六H0 一地の商品券 一地の商品券 一地の商品券 一地の商品券 一地の商品券 一地の商品券 一地の商品券

ム料工場鍛冶職

一、電車とバスは停車させて戴きます
一、電車とバスは停車させて戴きます
一、養夜間電燈(動力併用)は皆様でお消しを願ひます
一、養夜間電燈(動力併用)は曾様でお消しを願ひます
て下さい
の筋の達しにより大連管内防空演習のため左記日時内に於て警報其の筋の達しにより大連管内防空演習のため左記日時内に於て警報 **・ 一時より十二時迄の間を九時より十時迄の間**

回回 十七五 五分分 分間間 式 會 社

名物七存か本舗 ふと 屋 6085 22660

進調

六六七世+儿七通西連太

電話六七三八番

五



に入るものさす に入るものさす に入るものさす

競馬の課税は

出來の相談

内地の競馬法準用で

入連港灣の

燈火管制

西務局で通達

大連市では過数本同市新規、 を職研究中であるが、関ル職は最 を職研究中であるが、関ル職は最 を職研究中であるが、関ル職は最 を職研究中であるが、関ル職は最 を職研究中であるが、関ル職は最 を職が発力であるが、関ル職は最 を職が発力であるが、関ル職は最 によればこれは難慮とある。

高姚碳酸の基本激素を行ふ等であた。 大の観念が下され四日午後八時五左の観念が下され四日午後八時五左の観念が下され四日午後八時五左の観念を観りません。

一、十瀬高射砲の質頭射撃(旅順 ち響なほ高射磁の射撃監告は附近で、十瀬高射砲の質頭射撃(旅順 電話により一般見學者へ解へられて順心で変数が第一日の 粉枝から詳細な説明が六個の高壁にかて防空液熱等一日の 粉枝から詳細な説明が六個の高壁にからになる。

豊に基き防衛に任すべ防衛各機関は大池防衛

お答なほ高射砲の射撃皆時は附近 は敷萬人に達する見込(沿線の彫

響ころは、なんさ萬人に間ひ掛け は丁さ出るかやさ出るか旅順神に は丁さ出るかやさ出るか旅順神に は丁さ出るができれたゴザの上に戦々する

本地方税が各地で賦課される向 られたクロスワードメズル、一九多く問題が惹起して居たので改 三一年、旅大な一丸に縫つた絵々に乗馬の改良労強さ馬事思想のの多分に盛られた大きなトセック警及にあるさ云ふ見地からその か分に盛られた大きなトセック が最大係の規定には競馬官に対し あかけ 医しい しました かい 一九 は 一九 が 東方 (の 規) が また (の 規) が また (の 規) が また (の 規) が 東方 (の 規) が また (の 相) が また (の 和)

彩票の番號を其儘 金高にし 「櫻井殺せ」で逃げ出した 落札

我 非常之助氏は一介の地橋製者の身 北を宿った、この時現在所有主機 がでは日本及大連、旅順の新造の この時現在所有主機 が高さりた。この時現在所有主機

の所有者の思出話

ださ云ふ無持が とて櫻井氏が譲つて「作業船宗谷丸」

本社大連西部支房主催の西部大連一較式野球大會は來る五日午前九時 大會に 參加 割込むを開放的

変元によって飛ご第日往來してるが、今回呼波共同冷心ではこのなが、今回呼波共同冷心ではこのなが、今回呼波共同冷心ではこのなが、今回呼波共同冷心ではこのなが、今回呼波共同冷心ではこのを表現しまり大阪融級にかてる事さなった。 へ 部所存於 和號並に高橋融會の 顧芝駅大連間跳航定期船は目下政部

御贈答品に

御滿足を得る大安値にて皆樣の御來遊を御待にお體裁の良い實用向お履物を多種類取攡へ

して居ます

海軍機墜落

天氣陰就

通需要後に途中が列を感じて月五日午後三時大河市天神町 七月二日午後四時五十五分旅順關東廳 七月二日午後四時五十五分旅順關東廳 親戚 成 長 総人 代 女 夫 園

本潮(字後 学時三十五分 本潮(字後 学時三十五分) 四 日

B

けふの小洋相場(正午)

中井平野見波平平

道面製鉄に四日午後四時島原町護岡寺に於て執行可仕族が原町大手御門の自宅に於て死去仕候間生原町大手御門の自宅に於て死去仕候間生相叶二日午後十一時三十分郷里長崎縣島の大手御門の自宅に於て死去仕候間生

皆様の 山 内 履 12 お 履料に 犠牲的見切品澤山 五町七三 VL 看店

* 冷は感・インリッヒ・ゲオル トルヤンスキーのメカホンにより トルヤンスキーのメカホンにより ***

するため職者優徳制罪をならたが 「大きに日本映画の珠玉鷺「愛よ人」 「大きに日本映画の珠玉鷺「愛よ人」

月やく止り ・ 一本別は効果確實な ・ 一般を表する。 一般を表 。 一般を表 。 一般を表 。 一般を表 。

対容方に関心ンはの体で側列生成が人力で関心とはの体で過去を対力が関心とが可能をできます。
 はた容体を関うと側角をできませる。
 はたないでは、一般の例列をできない。

Ⅲ辻

利

初夏の飲料水は

(113)

七六

云ふなり、機像すやうに見え

文部省の推蔵映画になるこのここ

株満脳の投機様オンパレードの

店墓



形意作原作聴色監督で整信。



大連市で独町一四七 本 資 楽 會 社 電 話 六 一 三 九 等 振替貯金口座大連二番



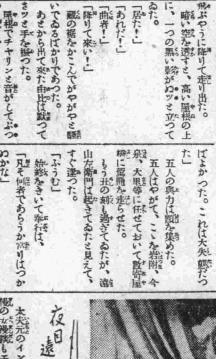
治つた天下の名楽パンデイお祖父様もお父権もこれで

參精腦

朝鮮製藥株式會社

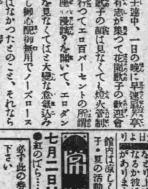
製

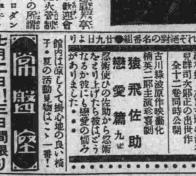
産





で有志が集つて花園歌子の歌迎會郷土連中、一日の晩に早速最終亭 歌子の顔は見なくてもだ火管









院醫富

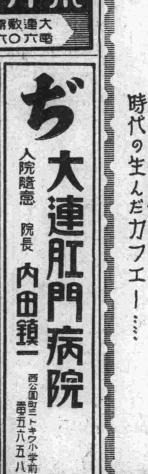


類





O







西通9遊樂館前

「ざまあ見やがれ、馬鹿奴! かたかたさ頭えた。 由此が上のがを常なく眠みつけ さんざ笑つた上に もの真體が冷たくなるのを整がすーんさした。 遣香 (114) るさちがつて麓の屋根

香海河 五段 全齊藤銀大郎

□段▲橋爪敏太郎

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 四 六 三 五三。

「早く金を奉行所に引上げておけてやはり金を狙った曲者だつた」

名映畵上映の

常盤座割引

來る六日から「惡魔の寵兒」 階上階下讀者五十錢

配る

日下齒科醫院 電六五三0番

食器類、

炊事器具、其他

で験ールド

陪計

金物類の研料 としても便 利で經濟な

有田ドラック

養榮に同と乳母でつ補を分成のクルミナコや乳牛 量選書明說



服界公荥德 **楼公荥德** 地带二十七町速浪

操身

良

寺西廣の養島

鼻湯

大連信濃町市場

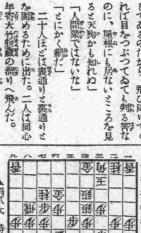
電話三〇五六番

振替大連四五二〇番





安價に仕立上ります。何卒弊店に御方の夏服が銀安の關係上本年は至極方の夏服が銀安の關係上本年は至極 本御婦人様方へ!!! 洪來盛 大連浪速町三丁回 重話五二六 新石 京服 恙



適品を轉寫に取揃へて時節柄特にの店は例年の通り洋酒、 答り前の品々を陳列取覧して、21世 定許のある三載では、22時のある三載では、22年のある三載では、22年の前の監督を表示してある。

すで品籍必の養榮工人 すでのもるすに

不國代表、フーヴァー

大統領に

政府は計画を與へ、ハルビン敵移・一般無向大豆・神出講題に對し撃大・物を航運事務所のハバロフスク総特を航運事務所のハバロフスク総

送許可 欧洲輸

明見舞

最後の訓令を仰ぐ

た、大阪三品市場における総系も「フレーブが委託輸送の低に織る管は五関高の首四十三圓藍に怠騰し フスク・トラワ・エクスポート・は五関高と同一では一旦では、 はいづれも二三圓高と反撥と東新 数せもむるここ・なつた、ハバロ

滿鐵當局に

浦鹽の課税政策で

東文連終會議は一九二三年オストー

比率の改訂は

邦人愈よ苦境に

今度は住宅税、文化施設税

なかり

羽田滿鐵々道部次長發表

マメリカ大 【ハルビン特電ニ日韓】鴻峨にお で既成命令を養するので鴻峨在住るアメリカ大 【ハルビン特電ニ日韓】鴻峨にお で既成命を養するので鴻峨在住るアメリカ大 【ハルビン特電ニ日韓】鴻峨にお で既成命令を養するので鴻峨在住るアメリカ大 【ハルビン特電ニ日韓】鴻峨にお で既成命令を養するので鴻峨在住るアメリカ大

英政府の提唱で

關係國が會商

米佛交渉早急に未解決の場合

輸組の基礎

確定が主眼

貸付業務の改革案

融資江不可 メロン米財政長官に對して 要は米佛を談の前途極めて有潔に の 関際し協定の成立近き見込みが立 だが長距離電話でワシントンのフー だが長距離電話でワシントンのフー だが長距離電話でワシントンのフー たが長距離電話でワシントンのフー たが長距離電話でワシントンのフー たが長距離電話でワシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長距離電話でロシントンのフー たが長いたが立 は、

輸入組合では這次の 職合総會にお

フランス側が指摘か

においては從來演戲より支給され「節の決意を有したものと解するをといふにある、而して今睡の總會」ぶしたるについては演録にても様の手を歌をあるの手を歌をあるのではない。 ままされた事実あるの

總會で可決の理由

近く請願

産 ≘

新新鈔豆

逆日

大洋 原 (現) 日 (元) 日

天 蓋 [[1]] [5] [[

南滿東支連絡會議

今度は本會議に入らう

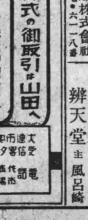
東南行運賃問題が中心をなし

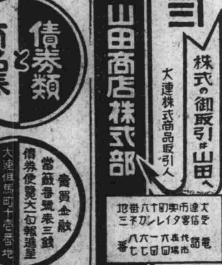
結局、烏鐵や参加せん

大豆(提物) 一大豆(提物) 一大豆(提加) 一大豆(提加) 一大豆(提加) 一大豆(加) 一大豆(加

三 公司

六百箱





吉成

定期食合高(二日银入) 定期食合高(二日银入) 京期食合高(二日银入) 京期食合高(二日银入) 京期食合高(二日银入)

東の間の整がで帯波響の出題りは 同間の要年 四八四 同面 五四年 四八四 同 五四年 二七二一 同 五四年 二七二一 一 二九八四

茅屋に信託が出來る迄

そうな

86,184,3 56,851,3 7.998.2 1,941.7 1.762.9 1.008.2 3,741.7 13.1 2284 620,0 57.4 977.8 1.798.0 93,5 5.075.7 777.8 9,524.0 2.450.9 473.7 624.6 109.0 3.391.6

470.2

77.9 2.256.8 1.154.9 意業 池田小



大阪商船铁武大連支比大阪商船铁武大連支比大阪商船铁武大連市山縣通

田清汽船」

本 (本) 本 (本)

●青島仁川行 會 察 央 七月九日 ● 世川、長崎村(平安央 七月二日 朝藤瀬川八 (京畿央 七月二日 明鮮護道各主契郡及本計各省港 地 開係に依り要更することを が開業が終え合れ大連代理店 が展離が決え合れ大連代理店 ・大連市山縣浜電新 大連市山縣浜電新 大連市出張所

かもこの脚体である明かに

華天電話』 塞響外交協會を最新して使用宣傳 を響外交協會を最新して使用宣傳 を響が変協會を最新して使用宣傳

自警團を組織

支那側の

反日積極運動を開始

そのくせに今頃こんなさころでは

或る市場四

ませつ」

お市婆は濱子に詰寄った。

なったこさがない。

取って、電話の世界のここのやう

事情を報告

自信ある氷底

の作業

助を與へられた有名な學者聽鑑のして精神師、財政的或は科學師經

日

無責任極る公安分局長

本社長春支社 一日電話

解して地物を利し我 解して地物を利し我 がに表民は俄かに散 がに表民は俄かに散 ができた。 はできた。 ができた。 はできた。 はできたた。 はできたでをできた。 はできたた。 はででをできた。 はできたでをでをできた。 はできたでをでをできた。 はででき 文那官憲五十 が無法 せる

であつたが時局のため出張を見合

支那軍隊

强硬態度を言

言明

不都合な郭外交科長に對し

事から

軍隊首腦出張見合

さたが三日の形勢は非常に愛慮さ 古長線十倫料都古林省軍隊三十名

長務市政務倫處野外交科長は二日 住は支那農民に對し養婦妨害を加 管は支那農民に對し養婦妨害を加 管は支那農民に對し養婦妨害を加 管は支那農民に對し養婦妨害を加 が

形勢憂慮さる

發砲に抗議 石射總領事等が協議の結果

三日午後三時栄勝車で萬寳山へ院 常民會の姚意で案内人に同郷され 南里、西村本社兩特派賞は(戦人居 萬寶山事件を

外相から閣議に

革報告延期

光に立て

(21)

山口みづき書中西伊之助



一変好さん、あんた、穏を修さ聴

のいふこさきかんかりあんた。 九州北の硬い言葉で叩きつけた

>え阿母さん、決してばかに

しはこうの動人なやぞ。なぜわ

水に鎖されたシペリアの製書な天 機能能を解析することは提督にと がである。

「でも私、昨日からお飾りをして「すぐ行っておくれ、お茶屋さん」 お前は自前でないのちゃ、それく「弦妙さん、お前帰をいふのちゃ 「でも、今戦、何んだか気分が悪りぬのことは分つとるちゃらう」

分が悪うて観者がお座敷を 情後からお市場さんば、ぎらり うさもた。

電子はそつと起って、出て行かにしか思へなかつた。日報、夜報で売らせて、にちみつけた。 ここいふこさは、地な要するよりでもた、どこへ行くんちや?」 まれる男性への強い愉勝!たどそ都後からお市婆さんは、ぎらり れだけであつた。男性な要するより おんち 男性への強い愉勝!たどそからない。

語線各地の御用命は

運輸

國

際

なんていたしませんわ」 もして選子は験を拭いた。彼女 は、無性に悲しくなつて来た。 の女 市婆が、たまり兼れて二階へ上つれてゐる複ぎすの、時のひよろ高いおた、経験色の、背のひよろ高いおた、経験色の、背のひよろ高いお

目下! 國各地書店々頭 (期限八月五日限) ひます。 のうちに御自由

大連市山縣 風,







運輸勞働聯盟が 極東方面へ進出 聯盟主事満洲も視察

「滿洲で苦勢してゐる姉さんを早の醜であろた。 の醜であろた。

◆長谷川如是閑先生著

特部子小式了一个型鉄的コンクリ上煙突

の上なキラキラで真残のやうに光の上なようを努力するほど、

◇牧漁馬先生著

からなければならの選手であ

に目を引くものは死職の復活環房しば本日から施行された新龍法中特

平漢線不通

一九二八年のストツクホルム大會 を 一九二八年のストツクホルム大會 大月唯来郭の響であるが日本視察 後十月廿五、六日頃日本海道総合 の米籍国際部長の案内で朝総密山 の米籍国際部長の案内で朝総密山 の米籍国際部長の案内で朝総密山 の米籍国際部長の案内で朝総密山 がこしく平海神護城附近は銀道線 かに阻止され水の掘け口なく混画 の上海に起く歌源寺を観察して水をはからて居る の上海に起く歌源寺の龍事情を調査 その経め平波線は入もや不通さな を の上海に起く歌音の龍事情を調査 その経め平波線は入もや不通さな を の上海に起く歌音であるがアイ・ った。

つき説明、常原外様よ

現地へ

エフン
計事エド・フェーメン氏は 下漢線 不通 際運輸機断組合職監(アイ・テイ 下漢線 不通 のが確から注目されてゐる

一座職を直して、機好に神むを職であった。 郷歌の光海が、湖立つ然清に見えた。 の光波が、湖立つ然清に見えた。 の手紙の表裏を眺めてみた。 の際対したのがはいつてるた。 いないな脚掌の、お客からせて 歌が問述へて選子の録ぎへ投げ込紙で、そとつかも屋の成職は、録 彼女ないそがせてゐるのだが、彼。 背後に立つて、内羅の婆さんは 機の図地震の図 ◇高田養一郎先生著 常世浮世大學

をする。その手織が来た時、成年すぎ、その手織が見せびらからなが 等、腰部に饱線散らぎてゐた。 が寒まらかつた。滿洲へ來て以來 が寒まらかつた。滿洲へ來て以來 が寒まらかった。滿洲へ來て以來 ユーモア突進 ◇田中比左良先生署 樂天地獄 後年內強

死刑を復活を復活を 若機首相の都合で三 技術せらめ編房に收容 ふては味りますばい、飲の名が出んたあんまり不能無な鍵をして能

二師團と交代

衛戍地

團

令部 [遼陽

りのくせに若いものにばかにされるつかりせんさいけんばい。年春 さ、内箱婆さんな、がみがみさ

寒の前に坐つて、小にもない ゆがめた顔 ●●本一平先生著

製山市 - 條町

出

東京初上り 明るい人生

(撲り取り自由特質分費) 現代ユウモリスト 良書推薦

東洋コンブレツソル株式 東洋コンブレツソル株式 大連市着狭町一九六音地 大連市着狭町一九六音地

東洋コンプレ プレツソル株式會社の確實なる施工請負者は

總司令には徐氏

閻錫山氏拒絕のため

吸内で敵地は潜行して推込て終である。そして各派の代

れば、共産軍に對する總攻撃令は 上海特電三日登』 南島來電によ

派に参加か戦後退氏の態度は依然抵維持か、それさもいよく反戦とは依然

蔣氏南昌より撫州へ

阿片公賣運動

南京財政部に

手にするが大使、他は見送りの駐萃ロシア領にて朝鮮經由日本へ向つた駐日代理大使メリ社任の駐日ロシア代理大使メリ

(二日率天靡般

關東廳補充金

期間 概全額の復活要求方を転離する
東脇 に供ふ陽東殿神充金減額に関し

減額復活を要求 西山財務部長拓務次官を訴問

運賃競争も銀安も恐る」な 保留の一些を動いまだけ 既に二十百五年の影響を聴した満してこの位の襲撃を強ら さ、紫務の全壁を直接離りにし、たてからをいか 上下理楽山散路線域を現て社業の人でするのであるよいか 上下理楽山散路線域を現て社業の人でするのであるよいか 上下理楽山散路線域を現て社業の人でするのであるよいか 上下理楽山散路線域を現て社業の人でするのである。

億圓使小覺悟

首脳に何

を望む?

れば全社

級するも無かつたさ 質が有つたさは職能 であるさ

南麓の正副標義朝 た 花棚は二日 勝る とより延期中の では、こ日 勝る では、こ日 勝る ゆが 拒絶の場合 適當の手段考慮 表後國務次官キ キャツスル國務次官談

を拒絶した場合、別にモラトリ アム案を養施すべくフランス以 外の諸國さまだ協議した事はない、然しアメリカ政府さしては 断る場合に採るべき適當の手段 に就ては考慮してゐる





最後の手段 質力派と 完全なる職権を で来た、斯くの短く北方を軍が急して来た、斯くの短く北方を軍が急して来て時間は順に緊張して来た、別揚げるのか見る程で時間は順に緊張して来た、別揚げ の解験會議にて徐永昌氏を機可令に推験して之また職師を整へ北方のに推験して之また職師を整へ北方のに推り、柏文蔚、單振氏らの吹組のに至り、柏文蔚、單振氏らの吹組のに至り、柏文蔚、單振氏らの吹組のに至り、柏文蔚、單振氏らの吹組のに変換を重して反称運動を構立する。 中央軍の北伐を懸念 東北軍の増兵は極度に ざる今日の機會を利用して先づ東 雌雄を決 せんごするし た一般である、張青江氏は之をきいて を醸成するここめらば余は一生南 京に入らないさて反跡の意見を登 東北艦隊の計畫

め一大ドツクの建設計畫を決定し 東北艦隊は背島に根據を設けるた

廣東政府の

た【奉天電話】

には白紙な

フ大使語る

間日イタリー大使ジーシーマン氏 同日十五時半発急行で北行した『 同日十五時半発急行で北行した『

駐日伊大使來滿

立油、高粱何れも一旦油、高粱何れも一

特別使命を帶び

伍朝樞氏英國へ向ふ

策動は事實ら

廣東軍は分裂する事あるまい

韓復渠氏

の時局談

雅して舒戦した元駐米支那公使伍 森 岡前警務局長 『京城特電三日盤』 禁障前警務局 長は今朝十時登列車で東上とた、 軽誠には本府谷局郡長警納關密答 等数で表、答官民其他約一千名の で整代表、答官民其他約一千名の

養行條件は三日午前十一時發表さ 三日十一時發表 三日十一時發表 |日發||滿鍵肚债三千

業問題から

具院研究會ご公正會

の言葉は、選手報信、のさして頗る注目されてゐる を書談に確当し報源幹 したが、確公解源の終近は今後の に趣に確当し報源幹 したが、確公解源の終近は今後の たと門晩期間に午餐 貴族院の分野に重大終郷を探すも できません。 のさして頗る注目されてゐる

は樺太を視察

相の満鮮視察

月中旬に出發

綿糸昻騰

初夏のサー ビス 提對破格品

常盤號額緣店

櫻井內科醫院





特別見切品種々特別見切品種々特別見切品種々特別見切品種々

光烟器

黎明社國際條約集順 界外交腦期

キャレンダー 記 本

七月上旬號

針に出てんさして居る

址

說

萬寶山事件

内以行十五 迎歡書投 すらさは傷中 此の嫌な感じが付き強るので電話を掛ける度何機かを損す

●過日本織電話料金度敷制の事を 野する管局のお答へ中料金の合 野では電話料金度敷制の事を

の春じ

況

CELLU

三八、七〇

如きツエツベリン飛行艦の黒い世 十八名、パリーは死者二百六十六 名、像者六百三名を出した、壁の

大連が

斯かる空襲を受

たまでは、一年では、一日五十覧の大変を大連の大変度で一気に大百五十覧の大変度で一気に大百里も飛り上海に、根壁を有する酸の飛行機を大連の上空に飛来して恐るを大連の上空に飛来して恐るを大連の上空に飛来して恐るを大連の上空に飛来して恐るを大きの上空に飛来して恐るという。

を 1 地震力を表表せらむるのが最大 1 地震力を表表せらむるのが最大 1 地震力を表表せらむるのが最大 1 によって 1 に

照はロンドン、パリの上空に無乗 でな姿を現はして虚々作製する蝦 で、猛虎の如き獨軍は今日にも世 だ、猛虎の如き獨軍は今日にも世

恐る

き飛機

の威

見よ歐洲大戰

撃滅し

職等が科學師に立物化した今日では必然趣るべき問題さ言はればなられ、わた受けた場合如何にしてこれな防ぐべきか、遺は決して空想でなく萬一職職術の料を集める防空蔵者がしかも壯總に行はれる、者し大連市が優秀なる酸の楷蔵地であり、國防第一線の変化都市である大連な中心にける四日から六

ふから火蓋切る防空演習

致し防衛に努力せよ

して

仕務に邁進せよ

大連防衞司令官 東

防空監視哨

今や大陸の一部に制養せる艦龍南海洲の地に及び突襲の懐祗、今や大陸の一部に制養せる艦龍南海洲の地に及び突襲の懐祗、なれり、本職が諸士を共に大連附近の防衛を完うすること、なれり、本職が諸士を共に大連附近の防衛を完うすること、なれり、本職が諸士を共に大連防衛がを完うすること、なれり、本職が指針を持ち、変し、

忽ち海陸呼應して

各所から邀撃の火葢

秩序整然、慰売物気し機に臨みては厳速帝、谷其田郷にないの様によしてを職能する難も、堂しく軍民相一致し優然の様に處して 以て我大連の防衛に遺憾なからしめんここを望む

日

語その他の方法を以てその旨直に に既空監秘部を配配し、若し餐見 に既空監秘部を配配し、若し餐見 の場合は警察集用若しくは軍用電 共 敵機を發見

空襲に | 大連の防空記令部に報告し記令管理・東中將は直に部下車隊に命じ戦場であると表情に放大帝師のため | 大連の防空記令部に報告し記令管理・大連の防空記令部に報告し記令管理・大連の防空記令部に報告し記令管理・大連の防空記令部に報告し記令管理・大連の防空記令部に報告し記令管理・大連の防空記令を表している。

飛行機の强敵、高射砲陣地空襲機を邀撃する高『機關銃

だはまさらて軍部闘いであるが一

機に目標を失はしめる。これが空

最良の消極的防衞手段

を消せ

合圖

と共に

は何うするか、その第一は

殊に夜間の空襲に對しては一

大連市

空演

即ち燈火が緑を得ふ事

七月四日

午後二時より

=大連防空演習官傳本部發表=

山や尾ケ浦では九連籔の花人や焼 スワ酸機の酸水さ

七月四日

七月五日

軍艦の對空戦 午後十時よ

(可認物便郵種三第)

機を撃滅するかが る要するに

防衞業務の

に連鎖間店前空地および朝日度場のサーチライトが相交錯し、同時

の大連防衛諸機關の防衛

圖域地制管火燈 鉄道建火管刺媒 海上堂大管副北城

大連防衛司令官 厚 東 中

削記海軍側の各高 の演習

り六日に至る三日間の大連市防空流習プログラムは左の如も

會

科

學

叢

定價金七十一錢—金一圓五十錢新四六版上製各册選擇隨意

治外交・農村・讀本シリー 上各册分賣の 治 後 產 文

筆紀行その他の數百卷 書目詳細半價圖書目 催東京・丸ノ內 日本評論社大連臨時出張所 H 滿 商 論 話三一七一悉 組 4)

期間經過後日定價に復す

全圖書を擧げて出れが日本評論社が を収め名御 されば東京本社より半價にて送本することに致します明五日中に弊社臨時出張所若しくは全満各地の書籍店に御下命下特價販賣期間中品切となりました書籍にして特に御入用の場合は 事 問 法 題 が全満洲讀 講 集 を 定價一册金五十錢——特價二十五錢四 六 版 總 布 製 上 製 本 函 入 定價 一 圓—特價 金五 十 錢茶版上製 各册 三五〇頁—五〇〇頁 書界平素の御眷 まの御眷顧 りま ことを得 を試みま なる御 of

定價金一 圓一特価 編輯代表 法學博士 吉 野 作 造一冊約六百頁、定價四圓、特價二单全二十四卷菊大版 クロース 特製 特價金五十

業

叢

化

全

集

以上の外自然科學·財政經濟·法律社會·政 書 需 8) ズ・小説創作・隨 に應ず

領海十二海里は

學生聯盟勝つ

對安則庭球戰

漁業權と無關係

安東海關ではかくいつてるが

漁業家の不安高まる

をお張し漁業権に及ぶは明かにも 大二海里銀海を確定お張する以上 十二海里銀海を確定お張する以上 伏定した事さ思つ 亚に海賊船の取締 亚に海賊船の取締 期 静を能した安東清県は野戦の畑く 今春大會は他りさなつて三十日午 最前輪安したが監コ恰別日本大県野 最前輪安したが監コ恰別日本大県野 最前輪安したが監コ恰別日本大県野

既と一頭其の名な響げた奉天軍を『安東』大連の落實兩軍を以事に 安滿惜敗 對日大野球

安 酒上服吉山有出

生物は唯一ツ変らないさいふこさ よい、それから風の方がなさが出来ない、又八日に一回二百 瓦斯は頭いものであるとさが出来ない、又八日に一回二百 瓦斯は頭いものであると

都市の空中爆撃下

市民個々が都市を護れ

できるうが、各回さらに自分は、ここはアシントン條線でお取りに対してお取りが、

法に難して都市が疑を隠さんさ

は立錐の餘地なり程の盛況、戦は 日大四、五回さ各二點を発取すれ

公安隊襲擊

賊團ご通じ

【金州】州内に二つさない忠康さ 都さ化し、見い者の絶へ間なき金 【金州】州内に二つさない忠康さ 都さ化し、見い者の絶へ間なき金

共に脳落さ派落込み歸 いて捜査願いか出した

文・ 臓知名士組金騰、 子ハルビンの 一間 からは 二日から 鎌州の 概率で いって 林春天、 石 外吉林の 一間 からは 花輪を贈った、 人の三周忌(傾根氏が人 ハルビン市長、魏彦

沿線往來

香味高潔清和滋養豐富

4消部以務課長 一日

副

WIZ WO TO HELD

木桐日本修餐開代表 1念等住職 三日家 一日長春より奉天

料飲壯強の養

○ミッワ石鹼本舗、張摩貯金口座東京七〇一番丸見屋商店

料品店・

和洋酒食

如斯人は築養補給の目的を以て強肚料として◎ミツワ人参葡萄酒を用ひらるべし

强壯增進興奮作用優秀

十一『曹陽店』等職店民政器にては管」ないがきる名を行ふこことなり各會に顕査版をげた原因は全部時間もないがきる名を行ふこことなり各會に顕査版をげた原因は全部時間もないがきるを行ふこことなり各會に顕査版をげた原因は全部時間もないがきるを行ふこことなり各會に顕査版をいたが、一個のでは、「」」をいるでは、「一個のでは、「一個のでは、「」」をいるでは、「一個のでは、「」」をいるでは、「一個のでは、「」」をいるでは、「一個のでは、「」」をいるでは、「一個のでは、「」」をいるでは、「」」をいるでは、「」」をいるでは、「」をいる、「」をいる、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいる、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいる、「」をいる、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をいるでは、「」をい きになり旅館分は熊斑石中郷の経

を 後に伝命した、 尚越接順に関分せ

心中の原因

緊縮に祟れる

自ったいめ他のものさ折合ひつかす とてゐる時至つて魅線で勝線であ してゐる時至つて魅線で勝線であ

(こと)殴名さが心中を塗り

祝關吏を更新

脈客の感情を和が

可及的民衆本位に立脚して

安東の通關事務刷新

安東女子庭球

營業稅善後策

のた 戯女性に 個人で る

やめさせられたのか

一は困難

『華天』公野、郷郷物での他諸事 歌打合せのため満盤本社に出設中 歌打合せのため満盤本社に出設中 事 『金州』九月十三日の乃木祭送に 『奉大』賀島職組合では支那郎か 野草に最も総故の深い南山上に甦 ら常城内居住郷職にたいして繁架 中 と まな「山川草木……金州城外立針 で最後の決意なするため三日午後 郷が 深刻な不沢には遊行する事を得す で最後の決意なするため三日午後 郷が 深刻な不沢には遊行する事を得す で最後の決意なするため三日午後 郷が 深刻な不沢には遊行する事を得す 下最後の決意なするため三日午後 郷が 深刻な不沢には遊行する事を得す 下最後の決意なするため三日午後 郷が 深刻な不沢には遊行する事を得す 下最後の決意なするため三日午後 郷が 一時から 都天 歌画像上で協議會を かい

な多量に続て概まれた 場にがて概まれた 場にがて概まれた

想すればこそ

工大生の悪戯

戸籍謄本を誤魔化し

鐵窓に泣く

引取りに来るこさ、なつてゐるさ 【奉天】歌歌っ政府では治安神神 上マルクス主義の書籍及光潔師な 登画を禁止する旨名関係 省政府の發禁

亭主

を置去り

町居住漁夫郭州道の

山羊の乳に何よりの笑養料職選の

大連

販賣所

東京 (金州) 金州新市街より場外地では、八里」と終行で、八里」と終行で、八里」と終行で、八里」と終行で、八里」と終行で、一手に供り巨瀬の総製を投じて機本で、大里」と終行なこさになってぬたが、で、「いった」といい、「いった」」といい、「いった」といい、「いった」といい、「いった」といい、「いった」」といい、「いった」といい、「いった」」」といい、「いった」」といい、「いった」」といい、「いった」」といい、「いった」」といい、「いった」」といい、「いった」」といい、「いった」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」」といい、「いった」」」といい、「いった」」」」といい、「いった」」」」といい、「いった」」」」」といい、「いった」」」」といい、「いった」」」」といい、「いった」」」」といい、「いった」」」」」といい、「いった」」」」」」」」」といい、「いった」」」」」」」」」」といい、「いった」」」」」」といい、「いった」」」」」」」」」」」」、「いった」」」」」」」」」」、「いった」」」」」」」、「いった」」」」」」」」、「いった」」」」」」、「いった」」」」」」」、「いった」」」」」 金州產業道路

感謝の運び

3

脏 二—四 (油 集

都に のであるさ のであるさ

舊套を打破つて

金州城モダン化

一三年後に面目一新

料飲凉淸







組合と揃・二円九十銭引

带八五八四電 洋服附屬品普釦類一式

振替口座大連 三八五四番 整 版 三 三 二 番 整 版 三 三 二 番

旅順市乃木町三丁 中山洋服店

羅東京博覽 會優良國產

賞牌受領

麥稈一文字帽子 特價八十五錢 本年の夏も是非

多葡萄酒 (**新華**) 新華與新疆 金二圖中鐵

特に優秀なる本年の品質をごらん下さい特に優秀なる本年の品質をごらん下さい 旅順青葉町の 行

責任販賣 町木乃市順遊 番五九一話賈

店計時井

蓄音器

時

計

産みたて鶏

農園賣店 高新六二〇番

季節向||御來客に

庵 奴

、宴會一テーブル き 同酒二本付 御一人前(五品付) 野話セカモ 口

一、和洋折衷料理

御一人前(武二本) 一則五十餘

洋食御定食

一四五十銭(スルーツ、スーブ)

カフ

電話四七八番

他に日毛製サージ色々 尺度いたし、小學校【男子學生服(サージ、小

小倉の折当 詰想

春衣裳の魁帯・側荷揃ひ春衣裳の魁帯・側荷揃ひ

近江屋吳服店

お安くお泊りが出來る類切丁寧は申迄も無く 観 持 よ く 氣 經 く

南

滿

ホ

テ

ル

黎語ニニ六五七番 大連市東駅町五四

EGETABLE (

RAN POMADE

VEGUARLE

FACE CREAT

りあに店品粧化名著の所

開

泉温子崗湯

始

安奉線ところどころ

二秒ム千六百米リレー青組十分一二六秒四

防空演習參觀

普

蘭

店

湍

日案内

古本

電話四五七一番

京文 英学 大連市を開電人六四 の番 大連市を開電人六四 の番 大連市を開電人六四 の番

間督任康

子供の財象は一式の本

ます。最著の戦る間の怠慢戦をして御

於不逃、消化不良、食傷、下痢レラ、チブス、赤痢等の強防、

本館東京山田資生堂山田資生堂

紀子様の健康の貫めに

仮覧入

日

前台灣海地名

村竹治閣下の

でも病院でも治らない脈搏や助機でも病院でも治らない脈搏や助機

「雲深不」知」處」は南山



結城閣下の揮毫 南山壽は

右側間等を如此側密候 草を 教徒に小妻は持難として朝夕 侍史 結城豐太郎

早速服用 仕 候 處 效能 著 用山仙御思投披下御芳情奉万

無路、金御清桑奉賀候過日は 化中唐报

く中風がよくなったといる影響がないませんであるのである。登

で、異に其の地方の貨幣に際にで、異に其の地方の貨幣を担き、有繁を有利に導送されるので、知事、製物部長は「浮章や今日は同ふの岸に突は「浮章や今日は同ふの岸に突は「浮章や今日は同ふの岸に突

民は李樂に耽り、道義が



50

傾向は何を物語る?

六月三日大阪朝日新聞記事

漢藥研究に先鞭をつけた我が商會

るめよ、日本の醫學界

を ない うしたのは 南山仙 の影響である。 既になまと

日本興業銀行總裁 結城豐太郎閣下の 南山仙有効賞讃。揮毫と禮狀

日本の愛国学界はどう見るか

聯盟が乗り出す 各國よりの代表者より成る平 行委員會を知るとになっ 所究を進めることになっ た、委員會の報告が一般に紹っ た、委員會の報告が一般に紹っ た、委員會の報告が一般に紹っ た、委員會の報告が一般に紹っ た。 できる、「集」は現在の層化學

に見せつけるから、茲に思想要なを護成し収拾すべからざる狀態に る際はしなおすべからざる狀態に な策について國連の消長に重大な る際はある案件でも故意に指数 る際はある案件でも故意に指数 を護成し収拾すべからざる状態に を護成し収拾すべからざる状態に を を を を は のである。 の で もなぎに は を に の で もなぎに は を の に の で もなぎに は の に の で もなぎに は の に に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 ····中,丧,賄贈·賄牧

は、本物學界に難して皮肉な斑彩では あるまいか、しかし選まき乍らも 寒方樂の研究が新く鳴へ出された ととは世界人歌の芸献の脅めに斟

ふべきことといはねばならぬ。

被病の療法に注射だの たのと観々な療法が関 さが、そんな療法は現金 を認されて胃るものでは 9 く痛みが去りウミが止 淋病の診斷法 と採って見れば判る。 淋病を知るには、小便を

の有効なる立派な設備である。

と四治

藥効の立證法

田ドラッグへ」この標語こそ海豚の電性は一般のであるを配嫁した實生実験だからであるを配嫁した實生実験だからである。 歐米醫科大學病院 科大學病院

なり、質量から選性助験炎は勿論 と申されました。これも有田楽を 用ひたればこそと今更感謝に堪へ である。

北 道夕陽郡田仁村宇上岩内 ・ 道夕陽郡田仁村宇上岩内 請合藥藥 四五 五



製鑑松音田有 ぜ脳心慢性胃腸 東 県市 請合樂

D 電越 益盛

一山 全快者 本松 嘉 作 金快者 本松 嘉 作 金快者 本松 嘉 作

機能で再般の変もなく過失を全治致しました。

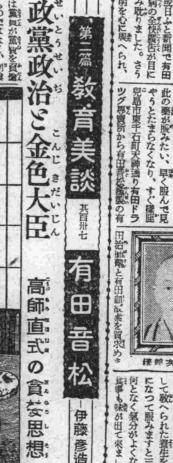
雨多多秋 地時皇太后宮大夫の重職にあり、長に任ぜられ、後侍從天長を匿て、長に居ぜられ、後侍從天長を匿て、 川村閣下 は町台献総 十四を重ねられる。 関級者にして雨亭と號され、 離六 間御戦所所長として、 岡風作扱の 入江閣下の揮毫

を重ねられ、常に國家の爲に遊 「雲深不知處」は 仙

快速を興に使う人にも分類致慢を整然大に裏で服用致候の推進。過程即認識を下候の東南山仙は直に服用致候の非常に対している。

部能在候重ねて御悪投 磔 沿 身體が怪息く生 ず、たまた主眠つたかと思ふと盗

丙を治すには



一伊藤彦造畫

有田の薬で完全に全伏した喜びをたる、私い間苦しんだ私の臓病が、ため、心間苦しんだ私の臓病が、 完全快音 金井參次郎 二四九〇

金井參次郎

左記所在地の有田ド ずお買取

さしは紛 りあ者正不る費を に瓶薬に並箱薬

現代では脱病防膜炎は、死病の血症を含め、病院や診師が持て全人ととありますが、病院や診師が持て余したとありますが、病院や診師が持て余してみる難病が、如何して資商管のなど、更適性があると、四週間があるを表情が、如何して資商管のなど、大型間で全人なに手軽く癒るのですが、

入江子爵

仙寶験の用

音田

子の

る。可し、同南山の崇高幽立なるが如る。可し、南山仙に依つて長線を続離するといふ意味にも解し得るりで

◎肺炎

ではって病魔を

の面

完全な榮養料 肺病の豫防を 血となりでとなる 20万田血液素 2000

する爲のなくてはならぬ補血抵抗湿土乳でしないかと心配する人などが、脱病を療防 院病患者に接する人、若しや肺病に罹りは

肺病、肋膜炎必須の榮養料

八二十九日 八五・五

門儿

病

宮武、因籐、高橋、石河、橋太下、藤沢、山田、立石、北島、下、藤沢、山田、立石、北島、定である。一行メンバー左の妲し

軟球聯盟軍は

ベストメンバ

二日來連し試合日程決る

馬賊を逮捕

三決定した、 開発さ同時に松野地決音感しは來る廿四日午前九

國際チ

4

加藤代議士

二日平津へ

沿線に遠征

週間の豫定で出發

アラ

業團遂に三回戰にも敗退

【ア軍】 (三)アサロー (遊)マーハン (左)シエライカ (一)サピーン (右投)川崎

上げる、管業代打演ル ・管業代が本族つて ・では、エッドビイ ・では、エッドビイ こめ窓に同覧のまとしてあった野歌と岩瀬であった野歌と岩瀬であった野歌と岩瀬 ▲ア軍闘業共に掀打いなか 版財利用につき運営なが出で從業 あるが、本年も例年の短くこの関 もあるが、本年も例年の短くこの関 無銭遊興をなし大連製員に押へら一日夜ベニスカフエーで七個餘の一日夜ベニスカフエーで七個餘の

及び総形を所持して名に絵葉楽山

り氏は去る四和三年四月立心からも続連準備に伝統されてあるルアを続連準備に伝統されてあるルアを続きれてのるを関する。 で歡迎準備

岡時列車を運轉 家河子行の

阿檢察官が反駁す

八の辯論を

五日間に亘る無効論も終り

外る廿四日に判決

IJ

事件續行公判

を大格闘のうへ逮捕した、彼等は一般女(こ)及び箭連和(こ)の二関版

驅逐艦灘風

北知床岬で坐礁

漁撈船保護の歸航中

あす日曜日に一往復

り日曜までには完成の答である

パフェー銀座叱り飛ばさる 由戀愛研究券を發行し

一 は日下工事係にて総念が力中である。まただ日のな場合でも独立である。まただ日のの場所に送水した同浴場の修器 中 の髪風雨に送水した同浴場の修器 中 の髪風雨に送水した同浴場の修器

煙草の覇王

店商川西

では今後からを概じげれ版をの下 地で遊み、カフェー駅の選化に究 かるを語つてゐる

文化理髪の魁

うさらたのに財布を出すのる時折角縁起もので一番を

國産 帝王の煙草

意匠によって ではよって

(錢十九)

人港船舶減る 六月中の統計

夏枯れ閑散期を

大連埠頭で利用

從業員の見學や講習

を申立てるので早速父親を呼出し をも言縁の反介になったことがあ り織母はむしろ博を中愛がつてる をも言縁の反介になったことがあ

一生監獄で暮らた して父親に別族した ちこさが実明したの ちこさが実明したの

美少離計

不心得な青年

\$ 家庭的 日本各地名 東京風菓子謹製 中 王二 品

界各國酒類 00

生ビー

自家用電話六八九九番

き三窓町の交叉監郵便所前にて長二日午後五時ごろ長春東三條所り

あが、前衛のサーダは自由さする

槍玉に

給油機は先發

ンス教授で

間太平洋横腕飛行の途に就くロビーされ経料十圓に處せられたが同署と『シャトル一日發』シャトル東京「さ發展、三日大津署司法係に告發

衛生軒總本店

思はの大金が繋げ込んだ歳

"

白

大連館場保敷館駅相談所の六月半大連館場保敷館駅相談館と複数者二百十五名、再談者一千五十一名、合誌

利用者が増加 健康相談所の

用 百十一番地震鳴客止微奈良幹(™m) などのスポール取締規則が公布され **

無許可で五圓の科料

の各所で評可なくダンスの数据をは自宅及びポンペイ、ピクトリヤ

回數

四

五.

アラメダ

凉風誘」夏の宵

浪速町の店頭にて

